

会長のページ 医療にかかる消費税問題について	河野 雅行	3
日州医談 地域医療構想と地域医師会	富田 雄二	4
エコ・リレー(489)	巴 寛, 佐藤潤一郎	6
メディアの目 感じることを出発点に	牧野 達夫	11
国公立病院だより(宮崎県立こども療育センター)	川野 彰裕	14
宮崎大学医学部だより(社会医学講座法医学分野)	湯川 修弘	16
専門分科医会だより(放射線科医会)	平井 俊範	17
医師国保組合だより 第20回歩こう会に参加して	早稲田芳男	30
ニューメンバー	加嶋 亜紀	42
診療メモ 舌下免疫療法について	坪井 康浩	64

あなたできますか?(平成26年度医師国家試験問題より)	7
宮崎県感染症発生動向	8
各郡市医師会だより	12
平成27年度女性医師支援事業連絡協議会	18
平成28年熊本地震へのJMAT派遣について	20
九州医師会連合会第352回常任委員会	21
九州医師会連合会第353回常任委員会	22
宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会	
～ All Miyazaki 研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ～	24
日医インターネットニュースから	26
薬事情報センターだより(348) 新薬紹介(その85)	29
医師国保組合だより	32
理事会日誌	37
県医の動き	41
ベストセラー	42
会員の異動・変更報告	43
ドクターバンク情報	45
行事予定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	54
宮大医学部学生のページ	66
あ と が き	70

お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集	10
クールビズについて	19
宮崎県医師会医療情報コーナー	23
被保険者資格喪失届について	33
医療事故調査制度 相談窓口	35
第17回宮崎県医師会医家芸術展作品募集!	36
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	51
「結核患者の服薬支援連携パスポート」を導入します(宮崎県)	53
日本医師会キャラクターデザイン募集について	63
宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ	67
郡市医師会への送付文書	68
ご 案 内 平成28年度第73回宮崎県医師会総会	35

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの
健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

初夏

セイタカシギは、宮崎で越冬する個体もありますがごく少数です。多くは春秋の渡り鳥として海沿い山沿い関係なく通過します。ドライブ中に偶然セイタカシギに出会うことがこの時期の楽しみの一つです。綺麗なピンク色の長い足は、初夏の稲の緑に映えて優雅です。

国富町 はら原 まさ政 き樹

会長のページ

医療にかかる消費税問題について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

国を維持するには税金が不可欠である。しかし、国民の義務ではあっても多く徴収されるのを好む人は少ない。要はその公平性と使い道である。医療関連の税としては消費税、継承に伴う相続税、事業税等多々ある。消費税については社会保障目的となっており、医療側から見れば歓迎すべきかも知れない。安倍首相が増税を延期するとして、26年11月に突然衆議院を解散した。12月に行われた総選挙で与党が大勝し、29年から増税は実施されるものと思われた。しかし、昨今の経済情勢から再度延期になる可能性も囁かれている。

長期間の景気低迷で国の税収が減少している。一方1,000兆円を越す借金は増え続けている。税収増加を目論む財務当局は様々な理由の元に課税を仄めかす。しかも、取り易いところから徴税しようとする。この原則は古来より歴史が物語っている。医療関係は収入が明確で徴税しやすい。しかし、医療は単なる営利企業ではない。国や県の行うべき公的事業を肩代わりして数多く手掛けている。国民の健康を守る行為そのものが公的行為に他ならない。しかし、医療・医療機関は他の業種と同じ様に見做されている。「医療は営利を目的としてはならない」と明確に謳ってあるのにもかかわらず、である。一部の為政者や財界人は、医療を巨大産業と捉えて景気回復の起爆剤と考えている向きもある。徴税の公平性から見れば、今の医療機関に対する消費税徴収は不公平である。最終受益者(患者)が負担すべき税部分を医療機関が肩代わりしている。国は診療報酬に含まれていると回答しているが、度重なる診療報酬改定や税率改定の結果、診療報酬のどの部分が消費税相当なのか明確でなくなっている。様々な統計処理にて日医がはじき出した数字は、現時点で0.62%の補填不足があるとしている。これは2,560億円に相当する。各医療機関が数十万円から数千万円、規模によっては更に大きないわゆる損税となり経営を圧迫している。今後、10%になれば、その負担に耐えられなくなるのは目に見えている。

日医、県医では抜本的見直しを各方面に要望している。課税・軽減税率や非課税等の様々な案が考えられている。しかし、歯科医師会や薬剤師会、病院団体等の各医療団体によっては考え方に温度差がある。消費税の動向は4段階税制、事業税等にもリンクして来る。日医はそれぞれが別物であるから個々に要望すると述べているが、取引材料とされる懸念もある。いずれにしても医療界が一致した方針を出さないと財務当局が相手にしてくれない。

国の借金を返済するには、増税しなければ財政が破綻する事は理解できる。しかし、今の消費税課税では医療機関が立ち行かなくなり、地域医療が崩壊して、様々な意味で国民の健康が損なわれ、産業が低迷し税収減少、ひいては国力が低下するであろう。抜本的な対策をしかも喫緊に要する。少なくとも、公平な税制に戻して欲しいものである。(平成28年 5 月)

日州医談



地域医療構想と地域医師会

副会長 富 田 雄 二
とみ た ゆう じ

宮崎県地域医療構想の策定は、平成28年3月29日の第4回宮崎県地域医療構想策定委員会に「構想案」が示されました。委員会での議論に基づいて修正の後に、議会や各団体への意見聴取、さらには県医療審議会、県議会での審議、パブリックコメント等を経て9月県議会にて決定のスケジュールとなっています。

地域医療構想は、本来の趣旨を離れ、病床削減の制度と捉えられて反対意見が多いのが実情です。なぜそうってしまったか考えると3つの要因が挙げられます。1.「地域医療構想ガイドラインに示された2025年の必要病床数」と「病床機能報告制度の病床数」という、概念が異なり比べられないものを比較してしまったこと、2.慢性期病床については、ガイドラインは根拠なく必要病床数を削減していること、3.国は2020年のプライマリバランス黒字化に向けて、医療費の削減圧力を強めている背景があること。

ガイドラインにおける高度急性期、急性期、回復期の必要病床数は、平成25年度1年間のレセプトデータ等から取得した入院患者の各日の出来高点数(医療資源投入量)を全てプロットし、3000点、600点、225点(175点)で区切って数えた患者数をもとに算出しています。従って、病態ではなく日々の点数のみで判断しています。また、この区分値(点数)は、ガイドライン策定のために便宜上設定されたもので医学的根拠はなく、また恒常的なものでもありません。当然ながらこの点数を変更すれば各機能の病床数も変

化します。一方で、病床機能報告制度の病床数の算出は、入院患者の病態などから、病棟毎にその主な機能を定性的に判断して報告するものであります。病棟単位での報告であるために異なる機能の患者が混在していても主な区分に一括して病床数がカウントされることとなります。一例ですが、宮崎大学医学部附属病院は高度急性期病床596床と報告していますが、上記ガイドラインに当てはめると高度急性期に該当する点数を満たす病床数は96床のみで、急性期171床、回復期205床、慢性期124床であったと計算されています。両者の数値を単純に比較してはならないことを十分に理解しておく必要があります。

慢性期病床数についてはガイドラインの数値自体に大きな問題があります。2013年の実績データにおいて、医療区分1の70%は在宅で療養可能として稼働病床数から除かれています。しかし、山口県医師会の調査では医療区分1で退院可能だったのは32%、福岡県では51%(在宅での条件が整っていることが前提)であったと報告しています。また、2025年の慢性期病床数の推計方法は、入院受療率の地域格差を是正するとその名のもとに、病床数の少ない地域に合わせるようA、B2つのパターンのみを示し、地域の状況によらず一律に病床を削減しようとの意図が感じられます。

今回、宮崎県地域医療構想で構想区域毎に示される必要病床数は、さまざまな前提(2013年の

疾病構成および受療率，便宜上設定された点数での機能区分，流出・流入の割合，など)の上に計算された一つの参考値であり，目標値ではありません。このことを良く理解し，今回示される数値を「10年後の各地域の医療需要(患者数)の予測値」と見ることによって，医療関係者が自院の今後の運営方向を考慮したり，地域医師会，行政および住民が自地域の医療提供体制整備のあり方を議論する際に有用なデータとして利用できると考えます。これが地域医療構想の趣旨です。今後を考える参考として，過去10年間の全国の病床推移を見ると，病院数は7%，有床診療所数は43%減少し，病床数(一般病床＋療養病床)は11万床(7.3%)減少しています。さらに，病床利用率も6%低下しているなど，すでに変化は始まっています。現状と今後の医療需要の変化を認識し，適切に対応することは，医療機関経営や地域医療を守る視点から重要と考えます。

また，慢性期医療について日本医師会は，慢性期入院医療と在宅医療を一体として考えなければならないとして，在宅医療が盛んな地域は在宅医療中心に，入院のニーズが高い地域は慢性期病床中心に，地域の実情に応じて構想を策定すべきと主張しています。この考えの下に，

地域医師会も入院医療と在宅医療の最適な組み合わせを模索しなければなりません。入院患者を在宅医療に移行する方針をとる場合は，受け皿としての在宅医療等の整備が前提であるとの認識を行政と共有する必要があります。無理な慢性期病床削減の方針は地域に不安と混乱を生じます。今年1月下旬に取りまとめられた厚生労働省の「療養病床の在り方等に関する検討会」における議論の結果も踏まえ，各医療機関において，経営を守りながら地域のニーズに応えられるように準備と工夫が必要です。

地域医療構想策定は出発点であり，4機能の必要病床数だけではなく，疾患ごとの患者受療動向や在宅医療の普及状況などを検討しながら，各地域の医療提供体制をニーズに適応させていく作業が地域医療構想調整会議において続いていくこととなります。現状は情報不足であり，県医師会としては，必要なデータが利用しやすい形で提供されるよう引き続き要望してまいります。人口構成が大きく変化し，医療ニーズが変化する中で，必要な時に必要な医療が過不足なく住民に提供できる体制を継続できるよう，地域医師会は地域医療構想においても中心的な役割を果たしていかなければなりません。

エコー・リレー

(489回)

(南から北へ北から南へ)

釣りの歴史

宮崎市 巴外科内科 ともえ 巴ゆたか 寛

私の魚釣りとの出会いは、小学校1年生の時です。当時、小学生の6年間は、毎年夏休みの間は父の実家の田舎町に行っており、初めは川遊び程度でしたが、タナゴ釣りを教えてもらったのが魚釣りに興味を持った始まりです。小学校4年生頃になると、下校後、友達と大淀川の観光ホテルの前の堤防から餌はゴカイで投げ釣りをしていました。当時は、ハゼ釣りが主でしたが、時に潮が合うと手のひらサイズのチヌが釣れたものです。父は一時チヌ釣りに凝り、当時の古賀総合病院の事務長の三川さんと一緒に出かけ、初めてチヌの年無しを釣り、振り返ってみれば、そのことが魚釣りにどっぷり浸かることになったのだと思います。私が中学から高校になる頃、父が鮎釣りを覚え、川の条件が良ければ日曜日毎に本庄川に友釣りに連れて行ってもらったものです。その後、熊本で浪人時代を過ごしましたが、1回だけ五家荘に山女魚釣りに連れて行ってもらった事があります。その時の山女魚の美しさは衝撃的でした。その衝撃が忘れられず大学(中禅寺湖のお膝元)に進んだ時は釣り部に入部。理由は、九州にいない岩魚と衝撃を受けた山女魚を釣りたいからでした。そして、フライフィッシングに出会います。中禅寺湖は日本のフライフィッシングの発祥の地で、フランス大使館など色々な大使館の別荘が湖畔にあり、そこに静養に来られた大使の方やご家族がフライフィッシングを持ち込みました。私も在学中は心弾ませ約2時間の道のりを何回も通ったものです。対象魚はブラウントラウト、レインボートラウト、レイクトラウトなどです。ボート置き場から湖畔沿いに歩いて大使館前に行きキャスティングするのですが、時々別荘に来ている方が後ろで見ている事もありました。夏休みにはフライの道具(タイイングセット)を持ち帰り、毎日の様に深年川、村所、耳川に通ったものです。当時、フライフィッシングは珍しく地元の小中学生などが後を付いて回ったものです。山の中の自然が気分転換になります。1人、河原で食べるオニギリ、食後に河原に寝そべて聞く風の音、川の流れの音、など心を癒される時間でした。最近ほとんど釣りに行く時間はありません。時間を作ってまた始めたいと思います。

[次回は、宮崎市の野村 勝政先生にお願いします]

私とワイン

宮崎市 佐藤小児科 さとう 佐藤 じゅんいちろう 潤一郎

私の父は晩年、ワインをこよなく愛し、ことある毎にワインを楽しんでいました(記憶に新しい会員の方も多くおられるのではないのでしょうか?)。父のおかげで、私たち家族も美味しいワインを頂く機会が多かったと思います。しかし、父亡き後はそうもいかず、自ずと私がワインのことを勉強(?)しないといけなくなりました。

ワインの歴史を紐解くと、紀元前4000年頃シュメール文明ではすでにワインの醸造が行われていました。また、「パンはわが肉、ワインはわが血」というキリストの言葉以来、ワインはキリスト教普及とともにヨーロッパ各地に広まり、葡萄づくりやワイン醸造を事業とした修道院や王侯貴族たちの努力でワインの質が改良され、発達していきました。

ワインには色々な楽しみ方があります。私は食事にあわせて飲むワインが大好きで、特に、天ぷらを食べながら黄金色でトースト香(焦げたパンの臭い)のするシャンパンやシャルドネを、グラスを傾け堪能する時は得も言われない至福の味わいになります。

ワインを通して新しい友人と出会えること、それもワインの魅力だと思います。ラテン語で、「In vino veritas.」ということわざがあります。英語に直訳すれば「in wine, truth.」,「ワインの中に真実がある」との訳で、ワインを飲むと本音が出やすいという意味です。昔より現代に通ずる「飲みニケーション」にワインは欠かせないものだったのでしょう。職種が違えどワインという共通の嗜みがあれば、饒舌になり話も大変弾むわけです。

皆さんもワインをいかがですか?

[次回は、延岡市の石井 千寸先生にお願いします]



あなたできますか？

— 平成26年度 医師国家試験問題より —

(解答は48ページ)

1. リハビリテーションに重点が置かれているのはどれか。

- a グループホーム
- b 有料老人ホーム
- c 介護老人保健施設
- d 介護老人福祉施設
- e 軽費老人ホーム(ケアハウス)

2. 好中球の異常によるのはどれか。

- a 慢性肉芽腫症
- b DiGeorge症候群
- c 毛細血管拡張性失調症
- d Wiskott-Aldrich症候群
- e X連鎖無ガンマグロブリン血症

3. 医療計画に含まれないのはどれか。

- a 監察医の確保
- b 救急医療の確保
- c 基準病床数の設定
- d 二次医療圏の設定
- e 地域医療支援病院の整備

4. 自律神経障害による突然死に最も注意すべきなのはどれか。

- a 多系統萎縮症
- b 多発性硬化症
- c 周期性四肢麻痺
- d Alzheimer型認知症
- e 筋萎縮性側索硬化症

5. 身長について誤っているのはどれか。

- a 出生時の平均は50cmである。
- b 出生時は4頭身である。
- c 11歳の女兒は男児より高い。
- d 12歳で出生時の3倍になる。
- e 思春期に1年間の伸び率が最大になる。

6. 70歳の女性。咳嗽、喀痰および息切れを主訴に来院した。6年前から咳嗽と喀痰とを自覚していた。1年前から坂道や階段を昇るときに呼吸困難を感じるようになり、風邪をひくと喘鳴が出現することがあった。1か月前から100m歩くと息切れを自覚し休むようになったため受診した。喫煙は20本/日を45年間。身長153cm、体重42kg。脈拍88/分、整。血圧134/84mmHg。呼吸数24/分。頸部の胸鎖乳突筋が肥大し、呼吸時に肋間や鎖骨上窩の陥入がみられる。呼吸は延長し、聴診では呼吸音の減弱がみられるが副雑音は聴取しない。

最も考えられる疾患はどれか。

- a 過敏性肺炎
- b 気管支拡張症
- c 肺血栓塞栓症
- d 突発性肺線維症
- e 慢性閉塞性肺疾患

7. 身長180cm、体重90kgで、高血圧のある事務職の男性に勧めるべき摂取エネルギーと食塩量の組合せで適切なのはどれか。

	摂取エネルギー (kcal/日)	食塩 (g/日)
a	1,400	6
b	1,400	10
c	1,800	6
d	1,800	10
e	2,200	10

8. 20歳の男性。オートバイ事故にて受傷し救急搬送された。来院時、発語はなく呼びかけに対して開眼は認められない。頭部と顔面とに打撲痕が認められ、鼻腔と口腔から呼吸時に血液があふれ出てきている。脈拍60/分、整。血圧140/80mmHg。呼吸数32/分。SpO₂88%(リザーバー付マスク10L/分酸素投与下)。

最も優先すべきなのはどれか。

- a 輸血
- b 頭部CT
- c 気管挿管
- d 鼻出血の止血
- e 救急隊からの病歴聴取

9. 当直中に病院職員から電話があった。「帰宅したら、自宅の浴室に目張りがされており、浴室から卵の腐ったような臭いが漏れ出している。浴室では弟が倒れているようである。119番には通報している」という。

適切な指示はどれか。

- a すぐ現場を離れる。
- b 浴室の換気扇を回す。
- c 弟の心肺蘇生を始める。
- d 弟を浴室から連れ出す。
- e 臭いの発生源を確認する。

10. 再生可能なエネルギー源はどれか。3つ選べ。

- a 風力
- b 火力
- c 地熱
- d 原子力
- e バイオマス

宮崎県感染症発生動向 ～ 3 月 ～

平成28年 2 月29日～平成28年 4 月 3 日(第 9 週～13週)

■全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：○結核16例：保健所別報告数を【図 1】に示した。

患者が12例，無症状病原体保有者が3例，疑似症患者が1例であった【表 1】。患者は肺結核が9例，肺結核及びその他の結核(結核性髄膜炎)が1例，その他の結核(結核性胸膜炎)が2例であった。性別は男性9例・女性7例で，年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類：報告なし。

4 類：○A型肝炎1例：日向保健所管内から報告があった。50歳代男性で，主な症状として全身倦怠感，食欲不振，黄疸，肝機能異常がみられた。

5 類：○アメーバ赤痢2例：宮崎市及び延岡保健所管内から1例ずつ報告があった。

・30歳代女性で，病型は腸管アメーバ症であった。主な症状は大腸粘膜異常所見であった。

・50歳代男性で，病型は腸管アメーバ症であった。主な症状は下痢，粘血便であった。

○急性脳炎6例：宮崎市保健所管内から報告があった。1～4歳が3例，5～9歳が2例，10歳代が1例であった。主な症状として発熱，痙攣，意識障害等がみられた。原因病原体はインフルエンザウイルスA型が4例，不明が2例であった。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：高鍋保健所管内から報告があった。0～4歳で，主な症状として発熱，咳，肺炎がみられた。肺炎球菌のワクチン接種歴はなかった。

○梅毒1例：延岡保健所管内から報告があった。20歳代女性で無症状病原体保有者であった。

○播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。80歳代で，主な症状として意識障害，真菌血症がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で，主な症状として筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害，発語障害がみられた。破傷風のワクチン接種歴はなかった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は12,317人(定点あたり268.8)で，前月比102%と同程度であった。また，例年の141%と多い。

前月に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と流行性耳下腺炎で，減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ，伝染性紅斑と流行性耳下腺炎であった。

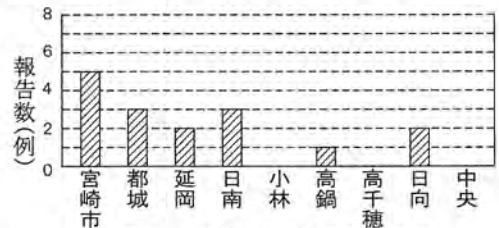


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	9
肺結核及びその他の結核(結核性髄膜炎)	1
その他の結核(結核性胸膜炎)	2
無症状病原体保有者	3
疑似症患者	1

表2 結核 年齢別報告数(例)

0～4歳	20歳代	30歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	2	1	5	6	1

前月との比較

	2016年 3 月	2016年 2 月	例年との比較
	報告数(人)	報告数(人)	
インフルエンザ	8,846	9,150	★
RSウイルス感染症	154	249	
咽頭結膜熱	73	81	
※溶レン菌咽頭炎	371	470	
感染性胃腸炎	1,937	1,711	
水痘	39	38	
手足口病	14	5	
伝染性紅斑	110	121	★
突発性発しん	127	110	
百日咳	1	3	
ヘルパンギーナ	2	1	
流行性耳下腺炎	474	457	★
急性出血性結膜炎	1	2	
流行性角結膜炎	126	81	★
細菌性髄膜炎	1	0	
無菌性髄膜炎	4	4	
マイコプラズマ肺炎	8	6	★
クラミジア肺炎	0	0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	29	20	

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザの報告数は8,846人(149.9)で前月の約1.0倍、例年の約2.0倍であった。中央(186.5)、延岡(175.3)、宮崎市(167.4)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の23%、5～9歳が36%、10～14歳が20%、15～19歳が3%、20～59歳が14%、60歳以上が4%を占めた。

伝染性紅斑の報告数は110人(3.1)で前月の約0.9倍、例年の約12.6倍であった。中央(11.0)、都城(4.8)、宮崎市(4.4)保健所からの報告が多く、年齢別では3～6歳が全体の約6割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は474人(13.2)で前月の約1.0倍、例年の約13.4倍であった。延岡(45.5)、小林(39.7)保健所からの報告が多く、年齢別では3～6歳が全体の約6割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向 〈2016年3月〉

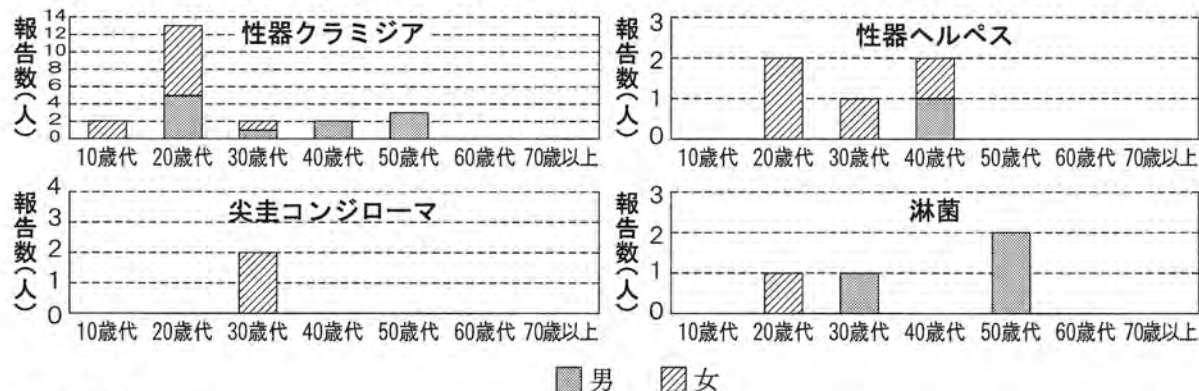
□性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は33人(2.5)で、前月及び昨年3月(2.5)と同程度であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月及び昨年3月と同程度であった。20歳代が全体の約6割を占めた(男性11人・女性11人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月の1.0倍、昨年3月の約1.7倍であった(男性1人・女性4人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月及び昨年3月の約0.7倍であった(女性2人)。
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の2.0倍、昨年3月の1.0倍であった(男性3人・女性1人)。



□薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は25人(3.6)で前月比125%と増加した。また昨年3月(2.6)の約1.4倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数23人(3.3)で、前月の約1.2倍、昨年3月の約1.3倍であった。70歳以上が全体の約4割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人(0.29)であった(前月及び昨年3月報告なし)。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウ イ ル ス	インフルエンザ AH1pdm09型	10
	インフルエンザ B型(山形系統)	3
	エコーウイルス16型	3
	エコーウイルス18型	1
	ノロウイルス G II型	1
	ライノウイルス	1
	ヒトメタニューモウイルス	1
細 菌	腸管病原性大腸菌(EPEC) (OUT:H51)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC) (OUT:HUT)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC) (O20:H6)	1
	Salmonella Manhattan (O8(O6):d:1,5)	1

「はまゆう随筆」原稿募集

7・8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評です。

題 材：診療閑話，私の趣味，旅行記，スポーツ談義，詩，短歌，俳句など何でも結構です。なお，本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数：800字以内（字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください）

締 切：平成28年 6 月29日(水)

◎原稿には「はまゆう随筆」である旨とタイトル，氏名を先頭に付記して下さい。

◎掲載については，広報委員会にご一任下さいますようお願いいたします。

◎掲載はおひとり1編とさせていただきます。

◎ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせ下さい。

◎原則として原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示下さい。

◎原稿の内容については，人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。

◎日州医事は，会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん，それ以外の方法(FAX，郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

メディアの目



感じることを出発点に

時事通信社 宮崎支局長

まきの たつお
牧 野 達 夫

先日、旭化成の佐々木悟選手がリオデジャネイロ五輪・マラソンの代表となった。佐々木選手はもちろん陸上長距離の選手が大学時代に特別な思いで臨むのが箱根駅伝だ。今年は、宮崎市内で合宿を行う青山学院大が圧倒的な強さで連覇を果たしブームとなったことは記憶に新しい。

実は、毎年、志願して箱根駅伝の写真取材をしている。10年以上前に母校が出場したのがきっかけだが、往路ゴールでシャッターを切るのが年中行事となった。小田原から芦ノ湖の往路ゴールを目指す5区は標高差約860メートル、寒さから低体温症になったり、力尽きてゴールに倒れこむ選手も多い。勝負を左右するため最近ではエース区間の2区以上に注目を集め、驚異的な記録で山登りを制した今井正人(順天堂大)、柏原竜二(東洋大)、神野大地(青学大)の3選手は「山の神」として時の人となった。歴代「山の神」の誕生の瞬間を伝えることができたのは幸運だった。ちなみに佐々木選手も大学時代はこの区間を走っている。

箱根駅伝は、1920年に明治大、早稲田大、慶應義塾大、東京高等師範学校(現筑波大)の4校で始まった。現在はシード校10校と予選を通過した10校の計20校が、東京都の大手町から神奈川県箱根町の芦ノ湖を往復する10区間、217.1キロで2日間にわたりたすきをつなぐ。出雲全日本大学選抜駅伝(6区間45.1キロ)、全日本大学駅伝(8区間106.8キロ)と比べ圧倒的に距離が長

く、5区には「天下の険」箱根山が待ち受ける駅伝の王様だ。正月のビッグイベントとして定着し、ビデオリサーチ社によればテレビ中継はNHKの紅白歌合戦並みの20パーセントを超える高視聴率だという。

そんな箱根駅伝だが、関東の大学しか出場できないローカル大会であることは余り知られていない。人気が全国に広がったのは、1987年に日本テレビが生中継を開始してからだ。調べてみると、当時は200キロを超えるロードレースの中継など前例がなく、山に遮られ電波が送れない箱根での生中継は不可能と考えられていた。それを実現したのが、日本テレビのプロデューサーだった坂田信久氏だ。

新人として取材した1964年、陸上界で将来を囑望されていた順天堂大の澤木啓祐さんが2区でブレーキとなる。大会終了後、エースの証を示すためにけがを押し、走っていたことを知り心を揺さ振られたことが出発点となったという。

20年間構想を温め生中継にたどり着くまでの道のりは駅伝に劣らぬくらい劇的だが、改めて自ら感じることの大切さを認識させられた。初心に戻ってシャッターを切りたい。

テレビマン達の奮闘は、スポーツライターの原島由美子さんが丹念な取材をもとに「箱根駅伝ー不可能に挑んだ男たち」(ヴィレッジブックス)で紹介している。興味のある方には一読をお薦めする。

各郡市医師会だより

宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市小児夜間急病センターが県立宮崎病院敷地内に移転して2年が経過しました。大きな問題もなく順調に運営できていることに改めて、宮崎市郡薬剤師会、宮崎県放射線技師会、宮崎大学医学部小児科、医師会員をはじめ関係する皆様に感謝の意を表したいと思います。

宮崎市郡小児科医会も、医師の高齢化が深刻な状況で、平成28年度の深夜当直に従事する60歳未満の医会員は17名で、今後減少を続け、平成31年には6名まで減少することがシミュレーションの結果わかりました。

今年度中に宮崎市郡小児科医会は深夜当直をどのように続けるかの検討を行うことにしていますが、維持する一つの方法は県立宮崎病院小児科の医師に深夜当直の応援をお願いすることだと思われます。

もちろん、県の職員が宮崎市の施設で時間外勤務を行うには制度上の困難があると思われますが、月に2回程度出務してもらうだけでも会員の負担が軽減できます。

もし深夜に夜間急病センターを受診することができなくなれば、患者は県立宮崎病院を受診することになり、県立宮崎病院の小児科医師はますます疲弊することになります。

さらに、夜間急病センター小児科の機能を新しい県立宮崎病院内に取り込んだうえで、宮崎大学小児科医師と医師会員が当直に参加するシステムを構築することが最善の策であると思われます。

今後、県立宮崎病院の建て替え構想に「宮崎市小児夜間急病センター」機能も合わせて検討していただくよう、県に働きかける予定です。

(高村 一志)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

現在の都城医師会訪問看護ステーションは旧医師会病院横にあるため、市の中心部からはかなり離れており、地域によっては利用しにくい場所にありました。

当初いろいろな制約から新医師会病院近隣への移転は難しいのではないかと心配もありましたが、関係者の皆様のご尽力・ご支援のおかげで、移転ができることになりました。

今後は開業の先生方や医師会病院との連携を更に深めて利用者の皆様の要望に積極的に応えていきたいと思っています。

(木村 健)

延 岡 市 医 師 会

対策型胃内視鏡検診には、制約が多すぎ、普及には様々な問題を含んでいます

①検査医の資格

日本消化器がん検診学会認定医・日本消化器

内視鏡学会専門医・日本消化器病学会専門医の資格を有する

年間100件以上の胃内視鏡検査を実施

②ダブルチェック

胃内視鏡検診として行われる検査は、全例、全画像のダブルチェックを行う

③胃内視鏡運営委員会の設立

現状に即した対策型検診マニュアルを作成されることを願います。

(今田 真一)

日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

今年度は、看護学校開校50周年を祝って11月26日(土曜日)に記念事業を行うことにしています。

平成24年度から関係職員で実行委員会を発足させ、事業計画を作成し、係分担を決めて準備を進めているところです。

開催まで1年を切りましたが、難航しているのが卒業生の住所の確認作業です。本年3月時

点で1,707人の卒業生を送り出していますが、住所の把握ができているのはほぼ半数です。今後、ポスター等を作成し卒業生への周知を図り、一人でも多くの卒業生に参加して欲しいと思っていますところ。（渡邊 康久）

児 湯 医 師 会

最近の話題。事務長の定年退職、看護学校の先生が1人退職し、新任の先生を採用。長く耳鼻咽喉科の診療を担当された先生が勇退され小児科で引き継がれる娘さんに交代。また、父から子への継承でA、B会員の交代も1件あります。児湯医師会も役員が改選となりました。運営する准看護学校では、3月に20名が卒業し、全員が資格試験に合格し、それぞれ就職、進学と新しい道を歩み始めました。卒業式で永友校長が贈った祝辞は宮崎日日新聞でも取り上げられ話題となりました。4月8日には、54期生が20名入学します。（大森 史彦）

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

県医師会から依頼のあった在宅医療実施施設と救急医療機関の連絡協議会を、当医師会においても平成28年1月18日、3月7日に実施した。

第1回は西都市消防本部の課長による事例報告、第2回は西都児湯医療センター理事長による救急搬送・転送報告であった。

当医師会の先生方は出来る範囲で一次、二次救急に取り組んでいるが、やはり宮崎市郡医師会の先生方にお世話になっている現状が顕著であった。

市郡医師会の先生方への感謝の気持ちを持ちつつ、日々の診療・救急医療に尽力して行きたい。（大塚 康二郎）

南 那 珂 医 師 会

宮崎県医療介護連携調整実証事業に基づき、日南串間医療圏の病院及び地域包括支援センター、施設、事業所のケアマネが協議を重ねてきた入退院調整コンセンサスブックが今年の3月に出来上がりました。

この小冊子是在宅患者さんの入退院に際し、

病院とケアマネが確実に情報共有を図るためのルールをまとめたものです。

ケアマネが比較的得意な医学を理解し、医療介護従事者に認知され、しっかりと仲立ちすることにより、病院と在宅の双方向の流れがスムーズに動くことが期待されます。（島田 雅弘）

西 諸 医 師 会

今後、医療、福祉において大きく舵取りが求められている。少子高齢化や人口減少が進み、2025年にはいわゆる団塊の世代が後期高齢者となる。それに対し政府は財政難の中、医療介護総合確保推進法（地域医療構想、地域包括ケアシステム等）により対応しようとして動きだした。

宮崎県でも地域医療構想の案が固まりつつあり、今年の中旬頃には決定、公表されると思われる。県医師会としてもデータの収集、分析を行っている。

西諸においても、地域医療構想調整会議、地域医療包括支援センターを設置し、検討が始まった。また研修会等も開催している。

今後、郡市医師会、各医療機関が地域特性に応じ、どのように対応していくかが重要となってくると考えている。（池井 義彦）

西 臼 杵 郡 医 師 会

去る2月24日、宮崎大学医学部教授藤元昭一先生をお招きし、西臼杵地区CKD病診連携の会を開催しました。

藤元先生の基調講演「CKD医療連携～先人からの教え」の後、医療現場と保健分野の4人のパネラーによるCKD医療現場の現状、課題、取り組みについてディスカッションを行いました。

高千穂町は糖尿病有病率が県内1位であり、透析患者数は現在64名で町民215人に1人（国民の450人に1人のはずが）が透析を受けており、CKD対策としてメタボ対策、啓発・早期発見、発症予防・進行抑制、糖尿病・高血圧の地域連携パス、藤元先生からCKD連携パスの構築および病診連携医の創設などの教えを賜り大変有意義な内容でした。（佐藤 元二郎）

国公立病院だより

宮崎県立こども療育センター



かわの あきひろ 所長

1. 概要

当センターは、昭和34年に肢体不自由児施設として開設され、昭和62年に福祉ゾーンの一部である現在地に新築移転しました。児童福祉法に基づ

く肢体不自由児施設であるとともに、医療法による小児整形外科病院としての機能を持つ県内唯一の施設です。このような中、平成24年度から児童福祉法の一部改正により「肢体不自由児施設」から「医療型障害児入所施設」及び「医療型児童発達支援センター」に移行し、多様な障がいに対してその役割を果たしていくことが求められるようになりました。

脳性麻痺を中心とした神経・筋疾患をはじめ、股関節脱臼などで比較的長期にわたる治療が必要な児童に、入所、通院による整形外科的、小児科的治療やリハビリテーション、生活指導を行い、その障がいの除去・軽減を図っています。

60名定員の入所部門と5組の母子入所部門からなっており、就学児童の多くは隣接する清武せいりゅう支援学校に通学しながら、治療・リハビリテーションを受け入所生活を送っています。その他、短期入所・日中一時支援事業としてのショートステイを1日8名、医療型児童発達支援センターとして1日10名の通所支援、重症心身障がい者生活介護事業として1日5名の通所サービスを行っています。

2. 診療

医師は3名の整形外科常勤医と1名の小児



科非常勤医で行っています。外来診療は原則的に予約制で行っており、小児科に関しては平成25年から非常勤となったため、週2日の再診のみを行っています。また、重複した問題を抱える児が多いため、宮崎大学医学部附属病院より、歯科、泌尿器科、眼科、皮膚科、麻酔科(手術の時)の医師派遣を頂いております。

整形外科は3名の専門医で診療にあたっており、また、宮崎大学医学部附属病院新臨床研修制度から地域医療枠として1か月間の臨床研修を受け入れています。おもな対象疾患は、小児整形外科では先天性股関節脱臼、先天性内反足、斜頸、ペルテス病、脚異常など、神経・筋疾患では、脳性麻痺、運動発達遅滞、二分脊椎、筋ジストロフィー、脊髄筋萎縮症、骨系統疾患では、骨形成不全、多発関節拘縮症、軟骨無形成症、多発性骨端異形成症などに対して専門的な治療やリハビリテーションを行っています。

主な治療として、脳性麻痺などの痙性麻痺に対しては、痙性筋・腱の延長や切離を行う選択的軟部解離術やボツリヌス毒素療法などを行っています。また、股関節脱臼に対しては超音波検査での診断、装具療法、牽引療法などの保存的治療や観血的整復術、遺残性脱臼に対する骨盤骨切り術、大腿骨骨切り術

など積極的に行っています。その他、創外固定器を用いた脚延長や変形矯正など長期間の治療にも、学校併設の入所という利点を生かして専門的に行っています。

以前より当センターに導入されている三次元動作解析装置はデータ処理能力の飛躍的な向上により、平成25年にバージョンアップ後、1秒間に100コマをカメラで撮影することが可能となりました。歩行中の下肢関節角度変化などの運動学的評価、関節モーメントなどの運動力学的評価を客観的に見ることが可能で治療に反映しています。ただし、検査技師がいないため、医師自ら検査を行っています(泣)。

小児科診療に関しては、前述のとおり、非常勤医1人の体制で自閉症や注意欠陥多動性障害(ADHD)などの発達障害を中心に外来診察(再診のみ)を行っています。その他、入所児のほとんどはてんかんなどの小児科的な合併症を有しており、常勤の整形外科医では対応できないことも多く、薬のコントロール、摂食の問題への対応をしていただいております。また、県内各地の支援学校に出向いて、学校の教師や看護師に指導する「医療的ケア推進指導医」として活動されています。しか

しながら、療育センターは小児の施設でありながら、小児科常勤医が不在である点は大きな問題と思われます。

3. おわりに

近年、前述のように児童福祉法の改正により、「肢体不自由児施設」という名称はなくなり、多様な障がいに対するニーズを求められるようになりました。以前は整形外科的な治療を中心に、運動機能に関して治療やリハビリを行っていましたが、近年は、重度心身障がい児に対する医療福祉への対応を強く求められております。小児科医不足、利用者の重度化、県央部の重度心身障がい児施設不在など様々な問題があり、今後の療育センターの在り方を含め、関係機関との協議が必要と思われます。

最後になりましたが、前任の柳園先生の退職に伴い、この4月から所長の職に就くことになりました。医師としてちょうど20年がたち、節目の年にこのような大役を任せられ、日々、体重が減少している今日この頃ですが、子どもたちがいきいきと暮らせるよう療育センターを盛り立てていきたいと考えております。今後とも障がい児の療育にご理解とご協力をお願いいたします。(川野 彰裕)

宮崎大学医学部だより

社会医学講座 —法医学分野—



ゆきわ のぶひろ 教授
湯川 修弘 教授

旧宮崎医科大学からの講座の多くは三・四代目の教授が活躍されていますが、高瀨桂一先生に次いで平成14年から二代目教授として務めております。当分野は私，准教授の柿崎英二，助

手の園田愛，技術職員1名，非常勤事務職員1名です。

研究はプランクトン(珪藻)や水棲細菌を指標とした溺死診断法の改良・開発です。自然豊かな本県では、釣りの最中に岩場で波にさらわれたり、一見浅そうな川でも足をとられたり、また認知症の方が側溝や用水路で転倒・転落したりして毎年少なからぬ人が亡くなっております。研究の実際は柿崎准教授に頼りきっておりますが、汽水域(河口)の珪藻の調査は法医学分野では世界初でした。河口では軽い淡水が浅層を流れ、重い海水が川の深層を遡っており、その程度が満潮・干潮で変わり、河口では同じ場所で溺れたとしても時間帯によって吸引する珪藻の種類が異なることがわかりました。

また、川で溺れた人からは淡水性、海で溺れた人からは海水性の細菌が検出されることがわかりました。特徴的なことは自然界の水自体には多種類の細菌が棲息しているのですが、溺れて飲み込んだ水とともに肺から体内に入り、さらに増殖できる細菌は限られていることで、川ではアエロモナス属が、海ではビブリオ属とフォトバクテリウム属が検出され、その中には暗所で光るものがあり注目を受けました。

法医学解剖は、平成27年は司法解剖(少しでも犯罪性が疑われるものや事故の解明の一助として解剖が必要とされるものなど)が74体、死因調査法に基づく解剖・行政解剖(初動捜査で犯罪性はないと考えられるが死因が不明なもので、解剖の結果病死と診断されることが多い)が9体でした。現在医師1名です。法医学会にはかなりの医師の人材があり都市圏を中心に充実した法医学教室がいくつもあって、そのような教室を目指しているのですが、私の力不足でリクルートできていないのが現状です。

講義は30コマ(1コマ90分)で、特別講義を3名の法医学教授に、法歯学(歯科法医学)を丸山壽夫先生をお願いしております。これまで4年生だったのですが、臨床実習充実の流れにおいて、3年生に繰り上がり、本年度だけ3年生と4年生の合同講義となっています。学生さんには大人数の講義の不便を掛けていますので、医学の知識量が大きく違う2つの学年のどちらにも何かしら得られるところがあるようによく準備して講義に臨まなければならないと思っております。

当分野は宮崎県医師会および先生方に日頃から大変お世話になっております。異状死体(法医学会の定義では病気か高齢による死亡と確実に診断された以外のご遺体)や変死体(警察用語で初動捜査の段階で犯罪死体か非犯罪死体のどちらか判断できないご遺体)のほとんどは警察医や臨床一般の先生方に検案していただいております。解剖となるのは不審な点が残るごく一部のご遺体です。他方、当初から解剖見込みのご遺体においても各種診療情報や死後CTなどで多大なご協力をいただいております。宮崎県医師会には昨年法医学会の学術九州地方集会において学会場のご提供(医師会館)と運営のご協力をいただきました。宮崎県医師会および先生方に厚くお礼申し上げます。(湯川 修弘)

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(放 射 線 科 医 会)



ひらい としのり
平井 俊範 会長

放射線科は画像診断、核医学、画像誘導治療、放射線治療の4つを担当しています。その中で画像診断、とくにCT・MRIの読影が大きなウエイトを占めますが、その数は年々増加しています。これは画像診断機器の性能が向上し短時間に広範囲の撮像が可能となったこと、画像診断法が多様化・高度化したことなどが関与しています。これは放射線科医にとっては診療や病院への貢献ができ喜ばしいことでありますが、日常の仕事量が増加し疲弊することにもなります。どこの施設でも放射線科医はこの二面性による悩みを抱えていることが現状です。この状態はもう限界に達してきていることは明らかで、ここでその打開策を考えてみたいと思います。

まず、最も重要なことはマンパワーを増やさなければなりません。さまざまな統計から、本邦の放射線科医は欧米と比べ少なく、1人あたりの読影数は欧米の放射線科医と比べ明らかに多いことが示されています。本邦では放射線科医の絶対数が不足しており、この点を最優先課題として学会を挙げて取り組むべきと考えます。一人でも多く放射線科の道に進んでもらうために、放射線科の指導医は放射線科の魅力を十分にアピールする必要があります。

次に、読影環境の整備が必要です。読影環境により放射線科医1人あたりの読影数は大きく改善するものと思われ、効率のよい読影環境を作らなければなりません。操作性のよい画像保

存通信システム(PACS)、多数の画像を一度に観察できる大型モニターなどは常備されるのは当然ですが、各読影端末には音声入力による所見作成システムや容易な三次元画像の作成機能が付いていること、また、電子カルテへのアクセスによる患者情報の取得やインターネットへのアクセスによる疾患・画像情報の取得が可能であることは迅速かつ正確な診断レポート作成に必要でしょう。

さらに、遠隔画像診断の活用は今後重要になるものと思われます。現在、地域の中核病院では1人もしくは少人数の放射線科医で画像診断業務を行うことも少なくありません。それを補う手段として遠隔画像診断が役立つものと考えます。地域の病院との連携を強化し、遠隔画像診断を積極的に推進することで放射線科医が不足している病院において画像診断の補助を行なうことができます。これにより放射線科医の疲弊の改善や地域医療への貢献につながるものと思います。また、疾患分野に応じて専門性の高い知識を持つ放射線科医が遠隔画像診断を行なうことで、放射線科医がお互いに補完でき、より効率的で信頼性の高いレポートを提供できるものと考えます。

前述した点を実行することで、放射線科医の負担は軽減できるものと思われますが、他の診療科の先生方とコミュニケーションを密にとり信頼されることは忘れてはなりません。最後に、他科の先生方からの所見に対するご意見は放射線科医の質を上げるために重要ですので、多くのフィードバックをどうぞよろしくお願い申し上げます。
(平井 俊範)

平成27年度女性医師支援事業連絡協議会

と き 平成28年2月26日(金)

ところ 日本医師会館

2月26日、日本医師会館に於いて「平成27年度女性医師支援事業連絡協議会」が開催された。

挨拶 横倉日医会長

(今村女性医師支援センター長代読)

はじめに、日本医師会女性医師バンク開設以降の実績についてふれ、全国のコーディネータ、医師会の協力に謝意を示した。また、当協議会について「各ブロック内の取組みや情報を全国で共有し各地域で活用してほしい」と述べた。最後に、「女性医師の活躍は医療の望ましい発展のために必要不可欠である」として、日医としてもその実現のために取組みを進めていく考えを示した。

報告

各ブロックを代表し、6県(宮城、栃木、三重、兵庫、岡山、宮崎)が女性医師支援の取組みを報告した。報告内容は下記の通り。

宮城県(北海道・東北ブロック)

高橋克子宮城県医師会常任理事

宮城県、宮城県医師会、東北大学病院、女性勤務医、宮城県女医会で構成される宮城県女性医師支援センターでは、出産・育児・復職等について随時相談を受け付けている他、さまざまなセミナーを開催。今後は、郡市医師会との連携を図る予定である。

栃木県(関東甲信越・東京ブロック)

滝田純子栃木県医師会常任理事

4月に設立した女性医師部会では、メーリングリストで意見交換や情報提供を行っている。また、研修医や医学生、行政関係者で構成する



男女共同参画委員会では、研修会や講演会を開催。特に注力して企画した「医学生、若手医師のキャリアデザインを考える会」は大きな反響があった。

三重県(中部ブロック)

今野信太郎三重県医師会理事

昨年、三重県からの委託により開設された三重県医療勤務環境改善支援センターでは、今年、知事の要請を受け、公的な位置づけとなる「『女性が働きやすい医療機関』認証制度」を創設した。医療機関は、書類審査、現地確認、専門家による審査を経て認証となれば、三重県から認証書が公布されるとともに、ホームページで公表・関係団体へ通知されることで、社会的に評価される仕組みである。認証に至らなかった場合も、同センターが改善のアドバイス・支援を行い認証までのサポートを行う。

兵庫県(近畿ブロック)

宮地千尋兵庫県医師会理事

神戸大学医学部附属病院の「D&N plus ブラッ

シュアアップセンター」では、院内の職種や性別を問わず、妊娠から産休、育休、復職、さらに介護休業まで範囲を拡大し、支援を行っている。その結果、同センターの登録者数、産休・育休取得者数ともに年々増加してきている。

岡山県(中国四国ブロック)

神崎寛子岡山県医師会理事

ブロック内各県の託児サービスについてのアンケート調査結果をふまえ、日本医師会に対し、医学会地方会での託児サービスについても補助の対象とするよう要請した。また、岡山県医師会では、「岡山大学医療人キャリアセンター MUS-CAT」と共同で行った「女性医師の学童保育に対するニーズ調査」を活かし、今後さらに学童保育支援事業に力を入れていく予定である。

宮崎県(九州ブロック)

荒木早苗宮崎県医師会常任理事

宮崎県医師会では、今年度新規事業として「宮崎県医師会女性医師保育支援サービスモデル事

業」を開始した。女性医師の残業や出張、子どもの病気時などに、医師会主催の養成講座を受講した保育サポーターが一時的な預かりを行うものであり、会員登録手続きや援助打診等の連絡は、NPO みやざき子ども文化センターに委託している。必要な時に必ずサービスが受けられる保育サポーターのシフト待機制、病後児預かりの条件緩和などの導入により、既存のファミリーサポート制度では対応できない部分をカバーし、より利用しやすいシステムを構築した。今年度、13名の保育サポーターを養成し、20名の女性医師が利用会員として登録された。サービス開始後1か月で5件の利用実績をあげている。

各ブロックからの報告後の質疑応答・総合討論では、活発な意見交換が行われた。参加者は134名であった。

出席者一荒木常任理事、糸数理事、畠中主事

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成28年5月1日より平成28年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成28年熊本地震への JMAT 派遣について

平成28年 4 月14日に熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。本会では熊本県医師会からの要請により、4月18日にJMAT(日本医師会災害医療チーム)派遣への協力を各医療機関に対しお願いいたしました。下記の通り10チームに登録をいただき、被災地において避難所等への巡回診療、健康管理等の活動を行っています。

ご協力いただいた医療機関、チームの皆様に心より感謝申し上げます。

平成28年 4 月28日現在

番号	チーム名	リーダー	人数	期 間	派遣先
1	古賀総合病院 I	後藤 崇医師	4	4月19日(火)～ 4月25日(月)	熊本市北区
2	宮崎善仁会病院 I	廣兼民徳医師	5	4月20日(水)～ 4月24日(日)	熊本市西区
3	宮崎市郡医師会病院	星山 禎医師	6	4月24日(日)～ 4月28日(木)	熊本市西区
4	都城市郡医師会病院	名越秀樹医師	6	4月25日(月)～ 4月29日(金)	熊本市北区
5	潤和会記念病院 I	濱川俊朗医師	4	4月25日(月)～ 5月 1 日(日)	熊本市北区
6	千代田病院	坂元昭裕医師	4	4月25日(月)～ 4月30日(土)	熊本市西区
7	宮崎善仁会病院 II	牧原真治医師	5	5月 1 日(日)～ 5月 5 日(木)	熊本市西区
8	古賀総合病院 II	松浦良樹医師	4	5月 6 日(金)～ 5月10日(火)	未定
9	宮崎大学整形外科	興梶聡志医師	4	5月11日(水)～ 5月15日(日)	未定
10	潤和会記念病院 II	成尾浩明医師	4	5月16日(月)～ 未定	未定

(県医師会地域医療課)

九州医師会連合会第352回常任委員会

と き 平成28年 2 月 6 日(土)

ところ ホテルニュー長崎

1 開 会

2 九州医師会連合会会長挨拶

(蒔本長崎県医師会会長)

3 報 告

1) 第115回九州医師会連合会総会・医学会及び関連行事について(長崎)

(1)参加者数について

総会・医学会、一般分科会、記念行事を含めた全ての延べ出席者数は、1,838名であったことが報告された。

(2)宣言・決議の取り扱いについて

例年どおり内閣総理大臣をはじめ256機関へ11月26日に送付したことの報告があった。

2) 日本医師・従業員国民年金基金第11期代議員の選任について(長崎)

推薦した鹿児島県の持富、長崎県の河原両先生が選任された報告があった。

3) その他

(1)横倉弘吉医療法人弘恵会会長(横倉義武日本医師会会長御尊父様)お別れの会への対応について(長崎)

九医連から弔電と供花、香典10万円を支出した旨の報告があった。

4 協 議

1) 九州各県医師会医療情報システム担当理事連絡協議会(3月12日(土)福岡市)の開催について(長崎)

原案どおりの日程で開催することが了承された。

2) 第136回日本医師会臨時代議員会及び九州ブロック日医代議員連絡会議(3月27日(日)日医)の開催について(長崎)

3月27日までに再度の九医連常任委員会の開催予定がないことから、提出された質問事項について、九医連会長(長崎)、副会長(熊本)で協議し代表質問、個人質問を決めることが提案され了承された。

3) 第353回常任委員会(4月9日(土)長崎市)の開催について(長崎)

原案どおりの日程で開催することが了承された。

4) 日本医師会選挙管理委員会委員及び予備選挙管理委員の選出について(長崎)

鹿児島県から各県持ち回りの提案があり、会長の長崎県と現委員を選出している福岡県で協議して各県へ連絡することとなった。

出席者一河野会長、山内事務局長

九州医師会連合会第353回常任委員会

と き 平成28年 4 月 9 日(出)

ところ 長崎市

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶

(蒔本長崎県医師会長)

3 報 告

1) 日本医師会選挙管理委員会委員及び予備選挙管理委員について(長崎)

委員の任期は、平成28年 4 月 1 日～平成30年 3 月31日。委員の選出方法は、九医連担当県の順番で決定され、今回は熊本、福岡県からの委員選出となった。

選挙管理委員会委員は、前田利為先生(熊本県)、大木實先生(福岡県)の 2 名、予備選挙管理委員は、飯星元博先生(熊本県)、池園洋先生(福岡県)の 2 名、選挙管理委員会は、5 月12日に日医会館で開催されることが報告された。

2) 故 坪井榮孝元日医会長「お別れ会」開催に伴う九医連合会の対応について(長崎)

平成28年 3 月27日の坪井病院主催と平成28年 4 月19日の日本医師会主催のお別れ会とも九医連会長名で弔電と供花を行った旨の報告があった。

4 協 議

1) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議及び九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会(6 月 4 日(出)長崎市)について(長崎)

日程、時間等については原案どおり了承された。

2) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議

3) 九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会

(1)九州ブロックから推薦する次期日本医師会役員等の候補者について

① 理事 2 名

② 裁定委員 1 名

九医連申し合わせに従い、理事については、熊本、佐賀県から、裁定委員については沖縄県から選出することが決定された。

(2)平成28年度・29年度における日本医師会代議員会の諸委員について

① 議事運営委員 1 名

② 財務委員 2 名

議事運営委員については大分県から、財務委員については、大分県、沖縄県から選出することが決定された。

(3)第138回日本医師会臨時代議員会(6 月26 日(日))における質問者(ブロック代表質問及び個人質問)について

各県の日医代議員の選定から質問提出までの期間が短く、再度協議するいとまがないことから、提出された質問については、九医連会長、副会長、議事運営委員に整理を一任することが了承された。

(4)日本医師会次期会長候補者の推薦について

6 月 4 日の会では、横倉会長を候補者

とすることを再確認し決起大会とすることとされた。

- (5) 日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について

役員選挙の公示は、選挙の20日前の6月5日、立候補の届け出は選挙の10日前の6月15日。届出等については、担当の長崎県で行うことが了承された。

4) 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(6月4日(土)長崎市)について(長崎)

日医各種委員会の報告希望委員会について、医事法関係検討委員会が福岡県と大分県から、救急災害医療対策委員会が佐賀県と沖縄県から希望があった。医事法関係については長崎県の高原委員に、救急災害に関しては福岡県の大木委員に依頼することが了承された。

5) 九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議(6月24日(金)、25日(土)、26日(日)東京都内及び日医)について(長崎)

6月24日は、九州ブロックとしての各種確認と九医連日医役員候補者を伴っての各ブロックへのあいさつ回りを行うことが了承された。

翌25日、26日も例年通りブロック会議を行うこととし、各ブロックからの挨拶を受けることが了承された。

6) 平成28年度(第38回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議(7月1日(金)長崎市)について(長崎)

原案どおり実施することが了承された。

7) 平成30年度全国学校保健・学校医大会に九州ブロック学校保健・学校医大会、九州学校検診協議会(年次大会)を併せて開催する方法(案)について(鹿児島)

提案どおり実施することが了承された。

出席者一河野会長、山内事務局長

宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日 10：00～19：00、土曜日 10：00～18：00

休館日：日曜・祝日、12月29日～1月3日、8月14～15日、特別整理期間(3日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL 0985-22-5118 E-mail : tosho@miyazaki.med.or.jp

宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会 ～ All Miyazaki 研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ～

と き 平成28年 4 月 2 日(出)

ところ 宮崎観光ホテル

昨年度まで、1年次臨床研修医を対象とした「新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会」、2年次臨床研修医を対象とした「みやざき若手医師キャリアプラン講演会・交流会」として別々に開催してきたものを、今回初めて「All Miyazaki 研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ」として開催した。また、九州厚生局主催の1年次対象の新規登録保険医集団指導も本行事にあわせ、同日開催された。

新研修医保険診療等説明会

本年度医師国家試験に合格し、本県で初めて臨床研修を行う医師を対象として、保険診療等説明会を開催した(出席者50名(医科47名、歯科3名))。

説明会は、立元常任理事の司会により開会し、富田副会長から「医師会の紹介と宮崎県臨床運営協議会」及び「医療事故調査制度」、小牧常任理事から「医事紛争」の説明を行った。また立元常任理事から、昨年度より研修医の会費が無料になったことを説明し医師会への入会をお願いした。



新専門医制度等説明会

2年次臨床研修医を対象に、宮崎県と宮崎大学から新専門医制度に関する説明会を行った(出席者40名)。はじめに、県医療業務課担当者から「専門医制度に係る情報提供及び各基幹病院の策定状況」について、次に、宮崎大学医学部医療人育成支援センター臨床医学教育部門小松教授から、「専門医制度における採用までの流れと研修医の心構え等」について説明をいただいた。

宮崎県臨床研修講演会

今回の目玉企画として、NHK 総合テレビ「総合診療医ドクターG」への出演や「研修医当直御法度」等の著書でも有名な、福井大学医学部附属病院救急総合診療部林寛之教授に「ER サバイバル御法度 ～充実した研修・医師人生のために～」と題し講演をいただいた。1・2年次臨床研修医及び指導医等193名の参加があった。

新研修医祝賀会

祝賀会には、県から知事・福祉保健部長・病院局長、宮崎大学から池ノ上学長・丸山医学部



長・教授・医局長・卒後臨床研修センターの委員、県内の基幹型・協力型臨床研修病院の指導医など関係者及び2年次の研修医が本県で研修を始める1年次の研修医を歓迎するために集合した。

立元常任理事の司会により開会し、主催者を代表して河野会長が歓迎の挨拶を行った後、河野知事、池ノ上宮崎大学長から研修医へ激励の

言葉を送った。次いで新研修医を代表して、岩佐一真先生がお礼と研修への意気込みを述べ、菊池県立宮崎病院長の乾杯の発声で開宴した。宴の席上では、1年次の研修医が一人ひとり自己紹介を行い盛会の裡に終了した。

なお、本会から1年次の研修医に記念の印鑑を贈呈した。

平成28年度新研修医

◆宮崎大学医学部

安 藤 有里恵
井 形 淳 平
石 崎 友 梨
石 田 翔太郎
伊豆元 心太郎
岩 佐 一 真
内 田 泰 介
海老原 尚
大 木 美 澄
岡 野 康 仁
金 丸 和 樹
川 越 悠 輔
川 添 杏 奈
木 村 賢 俊
串 間 千奈見

黒 木 彩泰子
黒 木 脩 矢
神 尊 雅 章
後 庵 篤
島 津 志帆子
千代反田 顕
中 島 知太郎
長 友 雄 麻
長 野 愛 実
西 村 沙 樹
濱 廣 友 華
日 高 三 貴
松 敬 介
相 馬 聡 宏
奈 須 遵 太

◆県立宮崎病院

櫻 原 大 智
久 保 佳 祐
原 幸 歌
藤 田 皓
原 尾 拓 朗
横 山 亮 平
落 合 晋太郎
西 田 晴 香
常 岡 祐 希
押 方 真
山 口 亜 希
菅 井 洸

◆県立延岡病院

工 藤 幸 暉

◆県立日南病院

井 上 晋 也
貴 島 翔 子
和 田 拓 也

◆古賀総合病院

北 爪 弘 美

◆宮崎生協病院

大 野 由香子
谷 口 彩 鳥
堀 竜 太

◆藤元総合病院

清 水 拓 海

日医インターネットニュースから

■医療機関 HP、「広告」扱いで検討開始 — 厚労省 —

厚生労働省の「医療情報の提供内容等のあり方に関する検討会」(座長＝桐野高明・東京大名誉教授)は24日、初会合を開き、医療機関のウェブサイトなどを医療法上の「広告」として取り扱うことの是非の議論を始めた。今秋をめどに取りまとめる考えだ。

現行の医療広告ガイドラインでは、医療機関のホームページ(HP)については広告とは見なさず、医療法の広告規制の対象とはしていない。HPの記載内容の適正化のため、厚労省が「医療機関ホームページガイドライン」を策定している。

内閣府消費者委員会が昨年、美容医療サービスに関する消費者トラブルが後を絶たないことを踏まえ、医療機関のホームページを広告に含めることなどを盛り込んだ建議を取りまとめた。これを受けて、厚労省は同検討会で検討を進めることにした。

初会合で、日医の石川広己常任理事は「美容医療サービスは患者の嗜好を伴うものであり、一般的な医療は別。美容医療サービスに問題があるのであれば、その点を重点的に議論することを優先すべき」と訴え、HPを広告として扱うことには同意しない姿勢を示した。

(平成28年3月29日)

■医師資格証の利用料変更を公表 — 石川常任理事 —

石川広己常任理事は、3月22日開催の第35回常任理事会で医師資格証の利用料の変更について了承されたことを受け、3月30日の定例記者会見で公表した。

同常任理事は、まず、日医が厚生労働省の保健医療福祉分野公開鍵基盤(HPKI: Healthcare Public Key Infrastructure)に準拠する医師資格を証明する医師資格証(ICチップ内蔵)の発行と運用を行なっていること、医師資格証は日医会員・非会員を問わず、申請された医師に発行

していること、また、本年4月から医師資格証を用いて電子署名を付与すれば、電子紹介状の算定要件を満たし、加算も算定できるようになることなどを説明。更に、日医主催の講習会等の出欠や日医生涯教育制度の取得単位の管理での活用、飛行機内での緊急対応時に、身分証として活用するための取組みなどを進めていることなども紹介した。

また、4月から実施が認められる電子処方せんに対しての電子署名も医師資格証を用いたものでなくてはならないと、電子処方せんのガイドラインに規定されたことにも言及し、これまでとは環境が大きく変わり、一層の普及が進むとの見方を示した。

その上で、同常任理事は、平成28年4月から厚労省の規定が変更されることを受け、日医としても、その普及を更に進めるため、医師資格証について、(1)費用の見直し、(2)有効期限を6年から5年に変更、(3)内蔵ICチップ内の電子証明書の有効期限を2年から5年に変更(これに伴い2年毎のICチップ内電子証明書の更新不要)、(4)郵送による申請の受付一を実施するとした。

(1)については、医師資格証の費用を、日医会員の場合、初回発行手数料を無料とし、年間利用料も廃止。5年ごとの更新時に発行手数料として5,000円(税別)を徴収。また、非会員は、初回の発行手数料を5,000円(税別)、年間の利用料を6,000円(税別)とし、5年ごとの更新発行時に発行手数料5,000円を徴収するとしている。

(4)については、従来は対面にて申請受付を行ない、本人確認と医師免許証原本確認を実施してきたが、平成28年4月から郵送にて申請を行なうことも可能とし、郵送にて申請された場合は、医師資格証を医師会等で受け取る際に本人確認と医師免許証原本確認を行い、医師資格証を交付することとしている。(平成28年4月1日)

■かかりつけ医機能研修制度の受講を — 鈴木常任理事 —

鈴木邦彦常任理事は今年度から始まった「日医

かかりつけ医機能研修制度」についてメディアファクスの取材に応じ、「地域に密着した医療を充実させる取り組み。一人でも多くの医師に受講してもらいたい」と参加を呼び掛けた。

日医は2013年8月、四病院団体協議会と発表した合同提言で、かかりつけ医を▽何でも相談できる▽最新の医療情報を熟知している▽必要な時は専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力がある―と定義。地域包括ケアシステムの構築が進み、かかりつけ医の重要性が高まっている中で、かかりつけ医機能の充実・強化を図る仕組みとして今回の制度化を図った。

受講対象は、地域住民のかかりつけ医になる全ての医師で、診療科は問わない。医療現場には今回の研修を修了した医師と、新専門医制度の総合診療専門医との違いを問う声もあるが、鈴木常任理事は「総合診療専門医はあくまで学問的な位置付け。将来、総合診療専門医を持った医師も、地域医療を実践するときには日医の研修制度を受講してほしい」と答えた。

研修制度は「基本」「応用」「実地」の3つで構成。このうち、基本は日医生涯教育認定証を取得していることが要件で、応用は日医が行う研修や一定要件を満たした都道府県医師会、郡市区医師会主催の研修などを受講することが必要。来月22日には東京・本駒込の日医会館で応用研修(日医による中央研修)が開かれ▽かかりつけ医の倫理▽生活習慣病▽フレイル予防、高齢者総合的機能評価(CGA)・老年症候群▽かかりつけ医の摂食嚥下障害▽かかりつけ医の在宅医療・緩和医療▽症例検討―についての講義が行われる。

実地は学校医、健康スポーツ医、産業医などの社会的な保健・医療・介護・福祉活動、在宅医療、地域連携活動を実践することで単位が認められる。基本に加え、3年以内に20単位(応用

研修10単位、実地研修10単位)を取得すれば、実施主体の都道府県医から修了証書・認定証(有効期間3年)が交付される。鈴木常任理事は研修内容について「すでに現場でかかりつけ医機能を実践している医師にとって決してハードルは高くない。一方、日常的に実践していない医師の中には、少しハードルが高いと言う人もいるかもしれないが、この研修内容程度のことはやってもらいたいということ」と述べた。

国民に研修制度を知ってもらう取り組みも必要だが、鈴木常任理事は国民にかかりつけ医を持つ意義について伝える努力は欠かせないとの認識を示す一方、「研修制度の実施主体となる都道府県医も効果的な周知方法を検討してもらいたい」と呼び掛けた。(平成28年4月8日)

■産業医の活動賠償責任補償を追加 ― 日医・医賠償制度 ―

日本医師会は4月20日、日医医師賠償責任保険制度に関して、産業医などの医師活動賠償責任補償を新たに補償内容に加えると発表した。会員が取り組む活動で不測の事故が起きた場合に、損害賠償責任を負うことで被る損害に対して保険金を支払う。

2014年に改正された労働安全衛生法によってストレスチェック制度が導入されたのを踏まえ、面接指導などで産業医が担う役割が増すことに配慮した対応。

補償の対象は、日医A会員による産業医、健康管理医、学校医、保育所などの嘱託医の活動で、補償限度額は1事故につき1億円。7月1日から始まる予定。笠井英夫常任理事は同日の会見で「補償の拡大を図ることで日医会員が安心して産業医などの活動を行い、また、その職責を尽くすことで労働者の健康増進、学校保健に寄与できる」と話した。(平成28年4月22日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズルーム>日医インターネットニュース
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

日州医事4月号「日本医師会医療情報システム協議会」の報告の中に誤りがございました。25ページ右欄27行目から26ページ右欄25行目までが昨年度のプログラムとなっております。正しくは以下のとおりです。お詫びして訂正いたします。

I. 地域医療セッション ～医療介護連携(SNS等)は如何にすべきか?～

座長／運営委員(登米委員, 牟田委員, 目々澤委員)

①富山県新川医療圏における連携パス・ICTを活用した多職種連携

下新川郡医師会理事 藤岡照裕

②連携EMAネットワークにおける在宅医療看護支援システムの運用と医療介護連携システムに関する考察

愛媛県医師会常任理事 窪田理

③スマートフォンと医療～SNSを使った取り組み～

東京慈恵会医科大学准教授 高尾洋之

④“うすき石仏ねっ”でもっと地域を元気に!

白杵市医師会医療福祉統合センター長 舩友一洋

⑤在宅医療介護連携に対するHMネットの取り組み

広島県医師会「ひろしま医療情報ネットワーク」統括本部長 藤川光一

⑥栃木県における医介連携専用SNS「どこでも連絡帳」と地域医療連携ネットワーク「とちまるネット」の併用

栃木県医師会常任理事 長島公之

⑦医療・介護分野のICTを利用した多職種連携に関する追加調査結果について

日本医師会総合政策研究機構主席研究員 上野智明

パネルディスカッション(上記発表者等)

II. 日医IT戦略セッション

座長／運営委員(富田委員, 大島委員)

①医師資格証の普及促進とIT分野での利活用について

日本医師会総合政策研究機構主任研究員

電子認証センターシステム開発研究部門長 矢野一博

②地域医療連携における紹介状作成ツール「MI_CAN」について

日本医師会総合政策研究機構主任研究員 西川好信

③ORCA事業の今後について

日本医師会総合政策研究機構主席研究員 上野智明

III. シンポジウム ～マイナンバーと医療等IDについて～

座長／運営委員(川出委員, 大橋委員, 藤原委員)

①医療等IDに関する日本医師会としての見解について

日本医師会常任理事 石川広己

②マイナンバー制度の展望について

内閣官房社会保障改革担当室内閣審議官 向井治紀

③マイナンバーカードの普及・利活用について

総務省自治行政局住民制度課長 篠原俊博

④マイナンバー制度のインフラを活用した医療等分野の情報連携に用いる識別子(ID)の体系

厚生労働省大臣官房参事官(情報政策担当) 佐々木裕介

⑤医療分野等ID導入に関する検討委員会より

東京大学大学院医学系研究科医療経営政策学講座特任准教授

医療分野等ID導入に関する検討委員会委員長 山本隆一

薬事情報センターだより (348)

新薬紹介(その85)

今回は4月に薬価収載されたプロスタグランジンI₂誘導体制剤ベンティビス吸入液10 μ g(一般名:イロprost)と抗悪性腫瘍剤タルグレチンカプセル75mg(一般名:ベキサロテン)について紹介いたします。

ベンティビス吸入液10 μ g(一般名:イロprost)

ベンティビス吸入液(一般名:イロprost)はBayer Schering Pharma AG社(ドイツ)により創製された合成プロスタグランジンI₂誘導体制剤で、携帯型ネブライザーを用いて患者自身が吸入する我が国初の吸入型肺血管拡張剤です。イロprostは、プロスタグランジンI₂と同様に、血管平滑筋及び血小板のプロスタグランジンI₂受容体を介して、アデニル酸シクラーゼを活性化し、細胞内環状アデノシン3',5'-リン酸産生を促進させることにより、血管拡張作用及び血小板凝集抑制作用を示し、肺動脈性肺高血圧の病態を改善することが期待されます。

イロprost吸入剤は、1998年より臨床開発が開始され、欧州では2003年9月に「原発性肺高血圧症」、米国では2004年12月に「肺動脈性肺高血圧症」の効能・効果で承認されました。2015年9月現在、70以上の国や地域で承認されています。我が国では、2010年「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において、本剤が「医療上の必要性が高い」と評価され、厚生労働省からバイエル薬品株式会社に対し開発要請が行われたことから臨床開発が開始され、「肺動脈性肺高血圧症」を効能・効果として、2015年9月に製造販売承認されました。

国内第Ⅲ相試験において、本剤が吸入投与された27例中21例(77.8%)に副作用(臨床検査値異常を含む)が認められました。主な副作用は、頭痛11例(40.7%)、咳嗽5例(18.5%)、低血圧4例(14.8%)等でした。なお、重大な副作用として、出血、気管支痙攣、過度の血圧低下、失神、血小板減少症、頻脈があらわれることがあります。

タルグレチンカプセル75mg(一般名:ベキサロテン)

タルグレチン(一般名:ベキサロテン)は、レチノイドの一種であり、レチノイド受容体のうち、レチノイドX受容体(RXR)(RXR α , RXR β 及びRXR γ)に対して選択的に結合し、転写を活性化することにより、腫瘍細胞のアポトーシス誘導及び細胞周期停止作用を示し、腫瘍増殖を抑制すると推測されています(*in vitro*)。

タルグレチンは、米国Ligand Pharmaceuticals社により創製され1994年より臨床試験が開始され、米国では1999年に「少なくともひとつ以上の全身療法に対して治療抵抗性を示した皮膚T細胞性リンパ腫」を効能・効果として承認されました。また、欧州では2001年に「少なくともひとつ以上の全身療法に対して治療抵抗性を示した進行期皮膚T細胞性リンパ腫」を効能・効果として承認されました。2015年8月時点において、皮膚T細胞性リンパ腫に関する効能・効果にて39の国又は地域で製造販売承認されています。本邦においても、「皮膚T細胞性リンパ腫」を効能・効果として、2016年1月に製造販売承認されました。

皮膚T細胞性リンパ腫患者を対象とした国内第Ⅰ/Ⅱ相試験において、安全性評価対象16例中16例(100%)に副作用(臨床検査値の変動を含む)が認められました。主な副作用は、甲状腺機能低下症15例(93.8%)、高コレステロール血症13例(81.3%)、高トリグリセリド血症12例(75.0%)等でした(承認時)。なお、重大な副作用として、脂質異常症、膵炎、下垂体性甲状腺機能低下症、低血糖、白血球減少症、好中球減少症、貧血、肝不全、肝機能障害、感染症、間質性肺疾患、血栓塞栓症、横紋筋融解症が報告されています。

(参考資料)

ベンティビス吸入液10 μ g, タルグレチンカプセル75mg各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

医師国保組合だより

第20回歩こう会に参加して

宮崎市 早稲田 芳 男

平成28年3月19日～20日、記念すべき第20回歩こう会は開催された。前日に懇親会があったのは今回が初めてのことで、個人負担もあったが参加者の大半の方、即ち21世帯52名が参加されて賑わった。会場はタツヤカワゴエ・ミヤザキ(シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート42階)で、入場の時には有名な川越達也シェフが出迎えて下さるサービス付きであった。料理のことはよくわからなかったが、地中海風ヘルシー料理で、一品一品解説付きで見事な料理が出てきた。もともと早食いの上、出されたものは何でも食べる、味にも音痴な私であるが、同伴した妻がこの料理は特に美味しかったと満足しきっているのを見て私まで嬉しくなった。遠くにチラチラとした宮崎市内の灯が見える42階からの夜景に、異次元の世界に迷い込んだような時間を過ごさせていただいた。

夢のような時間が流れる中で、秦理事長の挨拶も遠くで聴こえた。恐らくこんなことをお話されたに違いない。つまり、顔の見える組合員の連帯、健康寿命延伸のための検診事業の利用のすすめ、そしてこの歩こう会への参加の呼びかけだ。そして、ちょっぴり社会変動改革の中での医師国保の危機とその共有…そんなところか。

とにかく、医師国保に入ってよかったと思っている。だから、次男が潤和会記念病院を辞して親許に帰ってきたとき、自ら手続きをすすめ



て医師国保に入ったのには小躍りした。嬉しいことに今回の歩こう会は次男夫婦も一緒に参加できた。私にとってはめったに泊ることのない市内高級ホテルの宿泊体験を含めて最高のものになった。

10年前、妻が脳幹部梗塞で倒れ、長期間の入院の後生還した。このことに感謝して下僕となって断酒したが、周囲は大酒家の私の断酒に驚き、指を折りながら禁煙したうえ、ゴルフもやめて賭け事もやめて、と残った指をさしてもうあれしかないかと笑う。いつ倒れるか不安にかられる私はいつも妻と同じ行動をとることにした。

翌20日の歩こう会本番はロコモ予防体操に引き続いて、フローランテまでの歩行である。普段全く運動をしていない私にとってはとてもしんどい体験となった。近くをスポーツウェアに身をかためた秦先生や大坪先生がサッサと歩くのを後ろ目に、腰が痛いやら、もう恥ずかしく

てたまらなかった。本来はこの部分を報告せねばならぬのに書けない。フローランテでは皆が買い物をしているし、へたり込んでいる私を一瞥しただけで通り過ぎた次男夫婦の両手にも何やらいっぱい荷物があつた。

久しぶりにお会いした高橋先生がリタイアするつもりと、その心境を語られた。学ぶことばかりで先生への尊敬の念が高まった。再びホテ

ルまで歩いて帰っての昼食の後解散となった。来年も必ず来いよと声を掛け合ったが、来年こそは歩こう会の肝心な部分だけを書けるよう体力を鍛えねばと思った。

これだけの企画実行された役職員の皆様のひたすらの献身に感謝、そして、歯をくいしばってしんがりをつとめた者にしかわからぬ感謝。



医師国保組合だより**平成27年度 宮崎県医師国民健康保険組合第114回通常組合会**

と き 平成28年 3 月10日(木)

ところ 県医師会館

去る 3 月10日に第114回通常組合会が開催され、平成28年度の事業計画(案)、歳入歳出予算(案)、規約の一部改正(案)、給付費支払準備金積立金の処分、法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画(案)についての 5 議案が可決承認された。

1. 報 告

本年 1 月から社会保障・税番号制度が開始されたことに伴い、当組合においてもマイナンバーを利用した各種事務手続きを行うため、「規約の一部改正」(規約第 9 条加入の申込・第10条被保険者の届出)を理事の専決処分としたことを報告した。会務については、関係団体の会議等への出席、理事会および委員会に関する事項を報告。業務については、被保険者数と異動事由、保険給付状況、保健事業の補助内容を報告。平成27年度歳入歳出決算見込みについては、繰越金を除く単年度収支として歳入 4 億6,306万838円、歳出 5 億62万6,638円となり、約3,700万円のマイナス決算となると報告した。

2. 協 議

当組合の過去 3 年分の財政状況について説明し、単年度赤字が続く要因は、後期高齢者支援金負担に対する保険料と介護納付金で介護給付費用に係る負担に対する保険料が負担金に対して約5,600万円不足していることが挙げられ、今後もこの負担金は増加する傾向にある。加えて、定率国庫補助率が32%から28.2%に削減され、平成32年度までに 5 年間

かけて13%まで削減される。よって、当組合の財政の安定化および健全化を図ることが急務であることから、介護分保険料および後期高齢者支援金分保険料の引き上げを段階的に行い、定率国庫補助金の削減分については、積立金を取り崩しながら削減分を補填することで繰入させていただくことを提案し了承された。

3. 議案第 1 号 平成28年度事業計画(案)について

基本的に前年度を踏襲しており、新規事業としては、「ヘリカルCT 肺がん検診補助事業」を実施することが承認された。「ロコモ啓発推進事業」は継続事業とし、PDCA サイクルに沿った「データヘルス計画」を策定し、生活習慣病対策および被保険者の健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防等に取り組むとした。また、「組合員資格に関する判定基準」に基づく適正な組合員資格管理に努め、被保険者資格確認調査を実施する。国保組合共通システムについては、保険者機能の充実と社会保障・税番号制度導入に係るシステム対応および制度改正等にも迅速に対応することを説明し、原案どおり可決承認された。

4. 議案第 2 号 平成28年度歳入歳出予算(案)について

歳入については、後期高齢者支援金分保険料と介護納付金分保険料の月額保険料を一人当たり 1 千円の引き上げることにより、保険料が 3 億3,196万4千円で、歳入合計の約56%

を占め、国庫支出金が16%、繰越金は24%の比率となっている。歳出については、保険給付費が2億5,629万2千円で44%、後期高齢者支援金等が15%を占めている。歳入・歳出とも合計5億8,310万4千円の予算(前年度予算比約3.5%増)について説明し、原案どおり可決承認された。

5. 議案第3号 規約の一部改正(案)について

規約第48条「保険料の賦課額」の一部改正(介護分保険料2,500円→3,500円、後期高齢者支援金分保険料1,000円→2,000円)を行い、原案どおり可決承認された。

6. 議案第4号 給付費支払準備金積立金の処分について

定率国庫補助金削減措置に伴い、給付費等支払準備金の法定積立超過額分の一部を処分し、一般会計への繰り入れを行い、その削減される減収額分の財源に充てることが可決承認された。処分後の保有額は、3億6,555万3,269円。

7. 議案第5号 平成28年度宮崎県医師国民健康保険組合法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画について(案)

平成28年度の実践計画は、原案どおり可決承認された。

※出席組合会議員及び出席役員は下記のとおり。

1. 出席組合会議員

1 番 市来 能成	14 番 野邊 俊文
2 番 内田 攻	15 番 大岐 照彦
3 番 神尊 敏彦	16 番 鷗木 俊秀
4 番 田崎 高伸	18 番 井手 稔
5 番 田中 宏幸	19 番 江崎 豊
6 番 谷口 二郎	20 番 石内 裕人
7 番 玉置 昇	22 番 水野 智秀
9 番 弘野 修一	23 番 坂田 師隣
10 番 福永 隆幸	26 番 花田 武浩
11 番 藤木 浩	27 番 立山 洋司
12 番 武田 信豊	

2. 出席理事

理 事 長	秦 喜八郎
副理事長	大坪 睦郎
常務理事	高橋 政見
常務理事	佐々木 究
理 事	矢野 裕士
理 事	高村 一志
理 事	川野啓一郎
理 事	佐藤 信博
理 事	糸数 智美

3. 出席監事

監 事	棚田 敏文
監 事	山路 健

被保険者資格喪失届について

世帯内のご家族が就職等で協会けんぽ等の他の医療保険に加入される場合には、資格喪失届が必要です。14日以内に被保険者証を添えて届け出てください。

～各種申請用紙は当組合ホームページからダウンロードできます～
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

※問い合わせ先 宮崎県医師国民健康保険組合
 宮崎市和知川原1丁目101
 TEL0985-22-6588 FAX0985-27-6550

平成28年度宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出予算書

(歳 入)

(単位:円)

款	項	金 額	構 成 比
1. 国民健康保険料	1. 国民健康保険料	331,964,000	56.93%
2. 一部負担金	1. 一部負担金	1,000	0.00%
3. 国庫支出金		92,704,000	15.90%
	1. 国庫負担金	1,601,000	(1.73%)
	2. 国庫補助金	91,103,000	(98.27%)
4. 前期高齢者交付金	1. 前期高齢者交付金	2,000	0.00%
5. 県支出金	1. 県補助金	2,000	0.00%
6. 共同事業交付金	1. 共同事業交付金	9,000,000	1.54%
7. 財産収入	1. 財産運用収入	400,000	0.07%
8. 繰入金	1. 繰入金	9,904,000	1.70%
9. 繰越金	1. 繰越金	139,000,000	23.84%
10. 諸収入		127,000	0.02%
	1. 加算金・延滞金及び過怠金	1,000	(0.79%)
	2. 預金利子	60,000	(47.24%)
	3. 雑収入	66,000	(51.97%)
歳 入	合 計	583,104,000	100.00%

(歳 出)

(単位:円)

款	項	金 額	構 成 比
1. 組合会費	1. 組合会費	6,700,000	1.15%
2. 総務費	1. 総務管理費	45,882,000	7.87%
3. 保険給付費		256,292,000	43.95%
	1. 療養諸費	225,850,000	(88.12%)
	2. 高額療養費	25,001,000	(9.75%)
	3. 移送費	1,000	(0.00%)
	4. 出産育児諸費	840,000	(0.33%)
	5. 葬祭諸費	1,400,000	(0.55%)
	6. 傷病諸費	3,200,000	(1.25%)
4. 後期高齢者支援金等	1. 後期高齢者支援金等	85,906,000	14.73%
5. 前期高齢者納付金等	1. 前期高齢者納付金等	23,506,000	4.03%
6. 老人保健拠出金	1. 老人保健拠出金	4,000	0.00%
7. 介護納付金	1. 介護納付金	48,500,000	8.32%
8. 共同事業拠出金等	1. 共同事業拠出金等	10,971,000	1.88%
9. 保健事業費		26,250,000	4.50%
	1. 特定健康診査等事業費	2,900,000	(11.05%)
	2. 保健事業費	23,350,000	(88.95%)
10. 積立金	1. 積立金	5,000	0.00%
11. 組合債費	1. 組合債費	1,000	0.00%
12. 諸支出金	1. 償還金及び還付加算金	2,000	0.00%
13. 予備費	1. 予備費	79,085,000	13.56%
歳 出	合 計	583,104,000	100.00%

ご 案 内

第73回総会を開催し、各種表彰等を行いますので、是非ご出席ください。

平成28年度第73回宮崎県医師会総会

と き 平成28年 6 月18日(土)17:00～
ところ 宮崎県医師会館 2階研修室

次 第

1. 開 会
2. 物故会員に対する弔意黙祷
3. 県医師会長挨拶
4. 役員紹介
5. 来賓祝辞及び来賓紹介(祝電披露)

6. 各種表彰祝賀
7. 閉 会

※クールビズでの開催となります。

医 療 事 故 調 査 制 度**宮崎県医師会 相談窓口**

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。
医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

宮崎県医師会 電話 0985-22-5118

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話(0985-22-5118)で対応いたします。

時間外または日曜祝祭日等県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の医療事故調査・支援センター相談専用電話(03-3434-1110)にご連絡ください。

【その他】

この制度は、医療事故の再発防止により医療の安全を確保することを目的にした制度です。対象事案を報告するか否かについては、医療機関の管理者が組織として判断することになっており、ご遺族から医療事故調査・支援センターに直接報告や調査依頼をする仕組みではありません。

お知らせ**第17回 宮崎県医師会
医家芸術展 作品募集！**

「会員の先生方の優秀な作品を一堂に展示し、作品を通じて県民との交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成12年より始めました宮崎県医師会医家芸術展を、本年も県立美術館にて開催いたします。

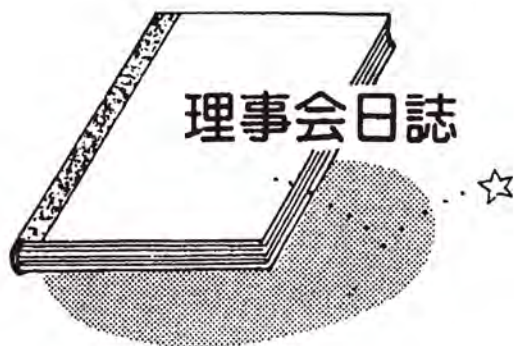
前回は、55名の方々から134点のご応募をいただきました。各作品部門におきまして充実した作品が揃い、とても素晴らしい芸術展となりました。また、入場者は5日間開催の中では過去最多の1,629人を数え、年々県民の間にも浸透しつつあるようです。

下記の要領にて作品を募集いたしますので、会員の先生及びご家族の皆様からのご出展を心よりお待ちしております。



(前回会場風景)

- 1 展示期間：平成28年 8 月10日(木)から14日(日)
※12日(金)は休館日です。
- 2 場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー1・2
- 3 応募作品：書道、絵画、写真
- 4 応募資格：宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)
- 5 応募方法：出品希望の方は応募用紙を送付しますので、下記までご連絡ください。出品者名、出品部門、出品数、サイズ等必要事項をご記入いただきます。
※作品の搬入出につきましては、各自の責任のもとでお願いいたします。
※来場者が作品を撮影することがありますので、ご了承ください。
- 6 応募締切：6 月10日(金)
- 7 応 募 先：宮崎県医師会・宮崎県医師国民健康保険組合
TEL 0985-22-6588・FAX 0985-27-6550



平成28年 3 月22日(火)第32回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県肝炎治療認定審査会委員の推薦及び就任について

→肝炎治療特別促進事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的として設置されている委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き弘野修一先生と北村亨先生を推薦することが承認された。

- ②宮崎県小児慢性特定疾病審査会委員の推薦について

→小児慢性特定疾病医療費助成事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的として設置されている審査会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き三宅和昭先生と高村常任理事を推薦することが承認された。

- ③宮崎県重症難病患者入院施設確保事業における難病医療連絡協議会委員の推薦及び承諾について

→本県の重症難病患者の円滑な受入れを目的として設置されている協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き池井常任理事を推薦することが承認された。

- ④児童扶養手当の支給に関する障害判定嘱託

医の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼があり、精神・肢体不自由・内部障害について、再任の方向で現職の先生方の意向を確認し、推薦を行うことが承認された。

- ⑤宮崎県准看護師試験委員の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、3名の嘱託医について、再任の方向で現職の先生方の意向を確認し、推薦を行うことが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①6/26(日)(宮崎市民文化ホール)宮崎県糖尿病講習会の名義後援の依頼について

→「食」についてのグループディスカッションや運動療法等の意見交換ができるよう企画する講習会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 3/31(木)スプリンクラー等の施設整備に係る補助制度説明会について

医療施設の行うスプリンクラー等の整備を支援する国の事業の説明会で、先週通知した全医療機関の案内に加え、再度、中小病院(主に延べ床面積3,000㎡未満)にも案内することが承認された。

4. 宮崎県医師会役員等の選挙について

任期満了に伴う役員選挙のスケジュール等を確認すると共に県医師会定款第33条及び選挙細則第3条等の規定により、公示(本会の機関紙への掲載)及び各郡市医師会長宛てに発出する文書の確認が行われた。

5. 『日医生涯教育協力講座セミナー 認知症に寄り添う～地域生活継続可能な社会に向けて～』共催団体追加のお願いについて(藤元メディカルシステム大悟病院・認知症疾患医療センター長より)

県の委託を受け設置している県認知症疾患医療センターにおいて、例年、認知症に関す

る学術集会を開催していることから、本会と日医及び第一三共が共催で企画している日医生涯教育講座に、県認知症疾患医療センターを追加することが承認された。

6. 業務委託について

①平成28年度広域予防接種業務委託契約書の締結について

→定期予防接種対象者が圏域を超えて接種できるように、県内の全市町村と契約を行うもので、平成27年度と同額の県内統一料金及び事務手数料予診票1件あたり200円で契約を締結することが承認された。

②平成28年度高齢者肺炎球菌感染症定期予防接種に係る広域契約について(県福祉保健部長より)

→県内市町村に住所のある高齢者が圏域を超えて接種できるように、県内の全市町村と契約を行うもので、接種料金7,790円の県内統一料金及び事務手数料予診票1件あたり200円で契約を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 3/17(木)(県医)県アイバンク協会理事会・評議員会について
3. 県議会に対する消費税問題の抜本的解決のための請願について
4. 3/19(土)(県医)消費税問題松下参議院議員への要望について
5. 3/16(水)(県庁)県薬事審議会について
6. 3/19(土)(宮観ホテル)養護教諭のための性教育研修会について
7. 3/16(水)(県医)各都市医師会社会保険担当理事連絡協議会について
8. 3/18(金)(県医)広報委員会について
9. 3/18(金)(県庁)県地域・職域連携推進協議部会について

10. 3/17(木)(宮観ホテル)県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会について

11. 3/17(木)(県医)県麻しん風しん対策推進会議・予防接種広域化検討会議について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 3/19(土)(JA-AZM)自民党県連総務・支部長合同会議について

2. その他

平成28年3月29日(火)第33回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 業務委託について

①子宮がん細胞診判定業務の委託契約について

→子宮がん細胞診判定業務の委託契約で、平成9年から事業を行っていたが、代表者が変更になったことから改めて契約を行うことが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①5/21(土)(宮観ホテル)2016年度「在宅を支える多職種交流会」名義後援のお願いについて

→在宅医療を支える方々を対象に「地域包括ケアシステム」を成り立たせるために～今、私たちが望まれていること～」をテーマに開催される交流会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 4/2(土)平成28年度宮崎県臨床研修説明会・講演会/新研修医祝賀会～All Miyazaki研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ～について

今年度から、全ての臨床研修医(1・2年次)を対象として開催する講演会及び祝賀会等で、出席者予定者とプログラム等の最終確

認が行われた。

4. 高速道路整備に関する新聞広告について(宮崎商工会議所連合会会頭より)

今年4月に東九州自動車道「椎田南～豊前」間が開通し、宮崎市と北九州が結ばれることから、更なる高速道路の整備促進と利活用を図ることを目的に新聞広告を行うもので、企画に協力することが承認された。

5. 医師資格証の案内について

日本医師会が「医師資格証」の年会費を無料化したこと等から、本会館で開催される研修会等において、主催者の了解を得た上で発行促進のための案内を行うことが承認された。

6. 資産の運用について

主に3月28日で満期を迎える資金について、宮崎銀行の大口定期と大和証券グループが出資する大和ネクスト銀行の定期預金に預け入れることが承認された。

7. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県災害医療コーディネータ委嘱に係る候補者の推薦について

→災害時に人的・物的調整、各種要請等、専門的見地から医療救護活動をコーディネートする職務で、医師会関係者が望ましいことから、本会及び郡市医師会から人選し推薦することが承認された。

8. 放送協力をお願いについて

NHK総合テレビ(ローカル)「昼前ほっとみやざき」及び「イブニング宮崎」の番組内で、定期的(月に一度)に健康情報を伝える企画で、県医師会として協力することが承認された。

9. 4・5月の行事予定について

4月の追加行事の確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 3/23(水)(総合保健センター)県健康づくり協会理事会について

3. 3/26(土)(東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会・運営委員会について

4. 3/29(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

5. 3/24(木)(県庁)県防災会議について

6. 3/27(日)(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議について

7. 3/27(日)(日医)日医臨時代議員会について

8. 「医師資格証」申請方法及び利用費用の見直しについて

9. 3/24(木)(日医)都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会について

10. 3/29(火)(県医)治験理事会について

11. 3/24(木)(県医)医療勤務環境改善支援センター運営協議会について

12. 3/29(火)(県庁)地域医療構想策定委員会について

13. 3/23(水)(県庁)県地域医療支援機構代表者会議について

14. 3/24(木)(日医)日本糖尿病対策推進会議総会について

15. 3/25(金)(ホテルプリムローズ西都)糖尿病診療のための地区別小講習会について

16. 3/23(水)(宮崎刑務所)宮崎刑務所視察委員会について

17. 3/24(木)(KITEN)みやざき子育てサポート連絡会議について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 5/15(日)(MRTmicc)参議院議員長峯誠政経セミナーのご案内について

下村博文衆議院議員を招き開催される政経セミナーで、協力することが承認された。

平成28年 4 月 5 日(火)第 1 回常任理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 「日本医師会認定産業医制度研修会」の共催のお願いについて**

平成28年度、宮崎産業保健総合支援センターが計画している37の産業保健研修会について、本会として共催すると共に日本医師会認定産業医制度の研修会として申請することが承認された。

2. 業務委託について

①県立学校における長時間勤務職員に対する医師による面接指導に係る業務委託契約について

→1か月の超過勤務が80時間を超えかつ面接を希望する職員及び学校長が特に面接指導が必要と認めた職員を対象に行われる事業で、引き続き契約を締結することが承認された。

②平成28年度県立学校健康管理医報酬額について

→教職員の健康管理に対する報酬で、1校あたりの職員数に応じて区分されており、昨年と同様の金額とすることが承認された。

(報告事項)

1. 3月末日現在の会員数について
2. 3/25(金)(宮大)宮大経営協議会について
3. 3/29(火)(東京)社会保障審議会医療保険部会療養費検討専門委員会について
4. 3/31(木)(県庁)消費税問題 知事へ要望について
5. 4/3(日)(県医)消費税問題 武井衆議院議員へ要望について

6. 3/30(木)(県庁)県メディカルコントロール協議会について

7. 4/2(土)(宮観ホテル)宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会について

8. 3/30(木)地域のちから・介護予防推進事業に関する連絡協議会について

9. 4/5(火)(県医)治験審査委員会について

医師連盟関係**(議決事項)**

1. 5/28(土)(JA-AZM)自民党県連定期大会代議員名簿提出について

党員50名に1名の割合で選出するもので、県医師連盟役員で自民党党員の9名(支部長含む)を、定期大会代議員として選出することが承認された。

2. 自民党県連表彰者の推薦依頼について

党籍20年以上で特に功績のある方を対象とする表彰で、県医師連盟の委員長または副委員長経験者の稲倉正孝先生、大坪睦郎先生、志多武彦先生を推薦することが承認された。

3. 4/21(木)(宮観ホテル)平成28年度清山会総会・懇親会の開催について

清山知憲県議会議員の資金管理団体である「清山会」の総会で、富田常任執行委員が出席することが承認された。

4. 4/11(月)(みやざきアートセンター)「デービッド・アトキンソン氏特別講演」開催のご案内について

宮崎の観光をテーマに開催される特別講演で、参加を希望される方は、事務局まで申し出る事となった。

県 医 の 動 き

(4月)

1	県産婦人科医会医療保険委員会(濱田副会長)		(日医)故 坪井榮孝元日本医師会会長お別れ会(会長)
2	宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会(会長他)	19	医協打合せ会(立元副理事長) 第3回常任理事協議会(富田副会長他) 医師国保組合打合せ会(秦理事長他)
3	消費税問題武井衆議院議員へ要望(会長)		
5	治験審査委員会(富田副会長他) 第1回常任理事協議会(会長他)	20	九州厚生局宮崎事務所との保険医療機関の指導計画等打合せ(会長他)
9	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会(富田副会長他) (日向市東臼杵郡医師会館)日向市東臼杵郡医師会臨時総会 (長崎)九医連常任委員会(会長)	21	(日医)都道府県医師会広報担当理事連絡協議会(荒木常任理事) (日医)日医公衆衛生委員会(吉田常任理事) 児湯医師会臨時総会(児湯医師会館) 清山会総会・懇親会(富田副会長) 医師国保組合理事会(秦理事長他) 県内科医会会計監査(小牧常任理事)
10	県小児科医会総会・春季学術講演会(高村常任理事他)	22	県認知症疾患医療センター合同会議(金丸常任理事) 広報委員会(荒木常任理事他)
12	第2回常任理事協議会(会長他)	23	地域包括ケアに関する講演会(富田副会長他)
13	支払基金幹事会(会長) 保育事業打合せ会(荒木常任理事)	25	(西都市西児湯医師会館)西都市西児湯医師会臨時総会 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会(金丸常任理事)
14	(東京)消費税問題古川衆議院議員へ要望(会長) (東京)消費税問題江藤衆議院議員へ要望(会長) (東京)消費税問題長峯参議院議員へ要望(会長) (日医)日医生命倫理懇談会(会長) 県産婦人科医会全理事会(濱田副会長他) 広報委員会(富田副会長他)	26	医協理事会(富田理事長他) 第1回全理事協議会(会長他) 医協理事・運営委員合同協議会(会長他) ロコモ予防みやざきアクション事業打合せ(川野理事他)
16	(東京)日本臨床内科医会理事会(小牧常任理事)	27	地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会(荒木常任理事) 労災診療指導委員会(川野理事) 労災部会会計監査
17	(東京)日本臨床内科医会総会・講演会(小牧常任理事)	28	(南那珂医師会館)南那珂医師会臨時総会 (延岡市医師会館)延岡市医師会臨時総会(吉田常任理事)
18	県外科医会理事・評議員会 県臨床研修運営協議会(会長他)	30	県産婦人科医会春期総会(濱田副会長他)

ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介しますコーナーです。

宮崎市
くるみ皮膚科

か し ま あ き
加 嶋 亜 紀



住 所 宮崎市

専門科目 皮膚科

略 歴

平成6年 宮崎西高校卒業

平成12年 愛媛大学卒業

平成14年 宮崎医科大学皮膚科入局

平成28年 くるみ皮膚科開業

趣 味 散歩, 水泳, 家庭菜園

抱 負 平成28年5月、恒久に開業いたしました。宮崎江南病院の近くです。「くるみ」の名称の由来は「皮膚は患者さんの Life を包み、守る」という願いを込めてつけました。これまでご指導下さった多くの先生方に感謝しつつ、これからは「269号線バイパス沿いクリニック」の一員に加えて頂き、地域医療に尽くしていきたいです。医師会の先生方にご指導を頂きながら頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

4 月のベストセラー（宮崎県）

集計：2016年 4 月 1 日～4 月25日

1 羊と鋼の森	宮 下 奈 緒	文 藝 春 秋
2 天才	石 原 慎 太 郎	幻 冬 舎
3 夢幻花	東 野 圭 吾	PHP 研 究 所
4 幸せになる勇氣	岸 見 一 郎	ダイヤモンド社
5 君の臓腑を食べたい	住 野 よ る	双 葉 社
6 カエルの樂園	百 田 尚 樹	新 潮 社
7 田中角栄100の言葉	別冊宝島編集部	宝 島 社
8 空飛ぶ広報室	有 川 浩	幻 冬 舎
9 また、同じ夢を見ていた	住 野 よ る	双 葉 社
10 感情的にならない本	和 田 秀 樹	新 講 社

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎(0985) 56-0868

会員の異動・変更報告

平成28年4月末現在 会員数1,724名
A会員 787名, B会員 910名, C会員 27名
男 性 1,502名, 女 性 222名

このページには県医師会に提出された「入会届・退会届・異動報告書」に連動した内容を掲載しております。

会 員 消 息

－ 入 会 －

日 付	郡市	氏 名	会員区分	医療機関名・所在地・電話番号
H28.3.1	宮崎	松浦喜久子	B A ²	(医)真愛会 高宮病院 宮崎市吉村町大町甲1931 ☎0985-24-5678
H28.4.1	宮崎	植木 義裕	B	(医)慶明会 けいめい記念病院 東諸県郡国富町岩知野762 ☎0985-75-7007
H28.4.1	宮崎	近藤 梨紗	B	(医)幸秀会 大江整形外科病院 宮崎市大橋1-94-1 ☎0985-25-6300
H28.4.1	都城	阿南隆一郎	B	国立病院機構都城医療センター 都城市祝吉町5033-1 ☎0986-23-4111
H28.4.1	延岡	澤部 俊之	B	一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団 延岡リハビリテーション病院 延岡市長浜町1丁目1777 ☎0982-21-6211
H28.4.2	延岡	石井 千寸	A	石井皮膚科 延岡市卸本町2-19 ☎0982-28-1112

－ 異 動 －

日 付	郡市	氏 名	会員区分	医療機関名・所在地・電話番号	異動理由
H28.3.1	都城	河野 郁子	A	ゆうクリニック 都城市広原町3号10-2-1 ☎0986-46-6100	新規開業： B → A
H28.4.1	都城	隅 靖浩	A	(医)育優会 すみ産婦人科医院 都城市東町3-16 ☎0986-23-1152	会員区分変更： B → A
H28.4.1	都城	隅 清賢	B A ²	〃	会員区分変更： A → B A ²
H28.4.1	日向	児嶋 一司	B	美郷町国民健康保険南郷診療所 東臼杵郡美郷町南郷神門1078 ☎0982-59-0017	勤務先変更等： 宮大→日向
H28.4.1	宮大	鬼塚 敏男	B		自宅会員へ変更等： 南那珂→宮大
H28.4.1	宮大	山岡亜由子	B	宮崎大学医学部附属病院皮膚科 宮崎市清武町木原5200 ☎0985-85-2967	氏名変更： 旧姓黒岩

— 退 会 —

日 付	郡市	氏 名	会員区分	医療機関名・所在地・電話番号
H27.5.31	宮崎	上園 繁弘	B A2	県立宮崎病院 宮崎市北高松町5-30 ☎0985-24-4181
H28.2.29	都城	横田 康	B A2	(医)敬和会 戸嶋病院 都城市郡元1丁目9-5 ☎0986-22-1437
H28.3.18	日向	小宮 憲洋	B	(社会医)泉和会 千代田病院 日向市大字日知屋字古田町88 ☎0982-52-7111
H28.3.31	宮崎	荻田 幹夫	B	(社会医)同心会 古賀総合病院 宮崎市池内町数太木1749-1 ☎0985-39-8888
H28.3.31	延岡	泉 公一	B	延岡市医師会病院 延岡市出北6丁目1621 ☎0982-21-1302
H28.3.31	日向	緒方 賢司	B A2	(社会医)泉和会 千代田病院 日向市大字日知屋字古田町88 ☎0982-52-7111
H28.3.31	西諸	加藤 健志	B	(医)相愛会 桑原記念病院 小林市細野167 ☎0984-22-4138
H28.3.31	西諸	福井 喜朗	B A2	(医)友愛会 園田病院 小林市堤3005-1 ☎0984-22-2221
H28.3.31	宮大	吉原 博幸	B	宮崎大学医学部附属病院 宮崎市清武町木原5200 ☎0985-85-1510

— 逝 去 —

日 付	郡市	氏 名	会員区分	医療機関名・所在地・電話番号	享年
H28.4.18	宮崎	貴島テル子	B		100歳

医療機関の変更

日 付	郡市	医療機関名	所在地・電話番号	備 考
H28.3.11	日向	なでしこ内科	日向市原町1-2-1-104 ☎0982-57-3860	施設所在地変更
H28.4.1	延岡	(医)早田病院	延岡市高千穂通り3748-1 ☎0982-33-5577	医療法人へ変更

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成28年4月14日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 4人

1) 男性医師求職登録数 4人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	3	0
外 科	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人

2. 斡旋成立件数 52人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 2 8 年 度	1	0	1
平成16年度から累計	38	14	52

3. 求人登録 93件 329人 (人)

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤	非 常 勤
内 科	112	83	29
外 科	28	24	4
整 形 外 科	25	22	3
精 神 科	19	17	2
循 環 器 科	8	7	1
脳 神 経 外 科	12	9	3
消 化 器 内 科	12	10	2
麻 酔 科	12	9	3
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	10	9	1
小 児 科	1	0	1
呼 吸 器 内 科	10	9	1
リハビリテーション科	6	5	1
総合診療科・内科	7	6	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	7	7	0
健 診	3	1	2
産 婦 人 科	1	1	0
泌 尿 器 科	1	0	1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	4	4	0
在 宅 担 当 医	1	1	0
そ の 他	30	26	4
合 計	329	265	64

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外, 整, 放, 麻, 内	10	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮崎市	乳外, 放, 内, 麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精, 内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼, 神内, 眼, 総診, 呼外, 臨病, 乳外, 整外, 麻酔	11	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	2	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内, 内分泌内, 呼内, リウマチ, 神経内, 健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内, 放, 在宅医療	3	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内, 神内, 整, 消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	内(緩和ケア), 消内, 呼内, 総診	8	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内, 外, 整	8	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化, 麻, 循, リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整, 麻	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	内, 外, 放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内, 整, リハビリ	7	常勤・非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	内, 精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国富町	内, 外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外, 内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	総内, 呼内, 消化器内, 健診	8	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内, 神内, 外, 整外, 脳外, リハ, 麻酔, 救急, 緩和ケア	10	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮崎市	美外, 形成外, 外, 麻酔	8	常勤・非常勤
230161	医)建心会 滝口内科医院	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230165	野崎病院健診センター	宮崎市	健診	1	非常勤
230171	医)いなほ会 日高医院	宮崎市	内	1	非常勤
230174	医)常聖会 巴外科内科	宮崎市	内	1	非常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮崎市	内, 小, 整	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内, 消内, 消外, 放(いずれか)	1	常勤・非常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮崎市	内	1	常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都城市	泌	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内, 消内, 整, 神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内, 救急, 放射, 脳外, 外, 眼, 透内, 皮膚	8	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内, 外, 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	内, 呼内, 総診	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内, 呼内	6	常勤
210114	藤元病院	都城市	精, 内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	外, 内, 整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都城市	不問	1	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
230137	医) 宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医) 魁成会 宮永病院	都 城 市	内, リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤
230157	医) 一誠会 都城新生病院	都 城 市	精, 内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内, 透, 循内, 救急, 放射, 病理, 呼内, 精	16	常勤
230172	医) 静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	4	常勤・非常勤
230176	一社) 藤元メディカルシステムグリーンホーム	三 股 町	内	1	常勤
230179	医) 与州会 柳田クリニック	都 城 市	外	1	非常勤
160012	医) 伸和会 共立病院	延 岡 市	外, 整, 放, 内	6	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医) 健寿会 黒木病院	延 岡 市	外, 内, 緩和ケア	6	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延 岡 市	産婦, 内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内, 消外, 内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内, 小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医) 中心会 野村病院	延 岡 市	内, 外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日 向 市	外, 内, 整, 神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内, 整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内, 整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内, 放, 外	3	常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整, 内, 総診, 麻, 眼, 健診, 循, 脳	10	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内, 外	2	常勤
150002	医) 慶明会 おび中央病院	日 南 市	内, 外, 整	4	常勤・非常勤
150003	医) 同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串 間 市	精, 内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内, 外, 整, リハビリ, 在宅医療	5	常勤
180071	串間市市民病院	串 間 市	内, 外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
230166	医) 秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230168	医) 月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内, 皮膚	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急, 総診, 放	5	常勤
180076	医) 友愛会 園田病院	小 林 市	外, 循内, 整, 脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医) 浩然会 内村病院	小 林 市	精, 内	3	常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整, 内	4	常勤・非常勤
230155	医) 三和会 池田病院	小 林 市	脳外, 内, 放射, 外, リハビリ	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
230173	医) 高千穂会 大森内科	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内, 外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内, 透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内, 整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 28 年 4 月 14 日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2022.17㎡(593.57坪) 所有者: 児湯医師会 (医)松雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡(691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪) 2階 547.79㎡ } 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台) 所有者: 西都市西児湯医師会 図師医院跡
2. 経営譲渡	① 小林市南西方49番地1 土地: 1,991.34㎡(603.43坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪) 2階 638.35㎡ } ※駐車場あり(30台) 所有者: 西諸医師会 (医)社団 産婦人科 生駒クリニック

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
c	a	a	a	e	e	c	c	a	a, c, e

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成28年 4 月 26日現在

5			月			
1	日		19	木	13:30 産業医研修会 15:00 (日医)日医医療IT委員会	
2	月					
3	火	(憲法記念日)				
4	水	(みどりの日)	20	金	14:00 (日医)都道府県医師会勤務医 担当理事連絡協議会 18:30 医師協同組合会計監査 19:00 広報委員会	↑ 国
5	木	(こどもの日)				
6	金	15:00 (日医)日医財務委員会	21	土	14:00 医療メディエーター養成研修 会導入編	保
7	土	15:00 日医生涯教育協力講座セミナー				
8	日		22	日	10:00 日医かかりつけ医機能研修制 度応用研修会(日医TV会議)	審
9	月	19:00 県内科医会学術委員会	23	月	19:00 産業医研修会 19:00 医師国保組合理事会	↓ 査
10	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第4回常任理事協議会	24	火	18:30 第1回理事会 19:00 県医臨時代議員会	
11	水	14:00 産業医研修会 16:00 支払基金幹事会 19:00 病院部会・医療法人部会理事会	25	水	13:00 全国医師国保組合連合会代表者会 14:00 県移植推進財団理事会 15:00 労災診療指導委員会 19:00 産業医研修会 19:00 都城市北諸県郡医師会定時社員 総会	
12	木	19:00 産業医研修会 19:30 県産婦人科医会常任理事会				
13	金	14:00 社会保障審議会医療保険部会療養 費検討専門委員会 15:15 地域医療介護総合確保基金(医療分) ヒアリング	26	木	18:30 県医監事監査	
14	土		27	金	13:15 (日医)日医ワークショップ 「会員の倫理・資質向上をめざ して」 18:40 勤務医部会総会・前期講演会 19:00 県内科医会理事会	↑ 社
15	日					
16	月	18:30 勤務医部会監査 19:00 勤務医部会理事会 19:30 広報委員会	28	土	16:00 死体検案研修会	保
17	火	19:00 第5回常任理事協議会	29	日		審
18	水		30	月	13:30 産業医研修会 19:00 県内科医会評議員会	↓ 査
			31	火	15:00 県地域医療構想策定委員会 18:15 医協理事会 19:00 第6回常任理事協議会	

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成28年 4 月26日現在

6			月		
1	水		15	水	
2	木	15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会	16	木	
3	金	15:00 県医療審議会 19:00 県医師連盟大会	17	金	19:30 広報委員会
4	土	15:00 九医連常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議 16:10 九医連常任委員・九ブロ次期日医代議員協議会 17:40 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議	18	土	県医定例代議員会 県医臨時代議員会 第3回理事会 17:00 県医総会
5	日	15:00 横倉義武日医会長候補選挙対策本部事務所開き・決起大会	19	日	
6	月		20	月	
7	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第2回理事会	21	火	15:00 県学校保健会理事・評議員会 19:00 第8回常任理事協議会
8	水	15:00 県健康づくり協会理事会 16:00 支払基金幹事会	22	水	12:30 宮大経営協議会・学長選考会議
9	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会	23	木	
10	金	全国国民健康保険組合協会通常総会 17:30 宮大医学部附属病院マッチング説明会&基幹型病院説明会	24	金	17:00 西諸医師会定時総会 18:00 九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議 19:00 広報委員会
11	土	14:30 産業医研修会(実地) 15:00 日向市東臼杵郡医師会定時総会 16:00 県内科医会総会・学術講演会	25	土	9:00 (日医)九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議 9:30 (日医)日医定例代議員会 16:00 専門医プログラム合同説明会
12	日		26	日	9:00 (日医)九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議 9:30 (日医)日医臨時代議員会
13	月		27	月	19:00 西都市西児湯医師会定時総会
14	火	19:00 第7回常任理事協議会	28	火	19:00 第9回常任理事協議会
			29	水	15:00 労災診療指導委員会
			30	木	19:00 産業医部会理事会

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E - Mail : genko @ miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985 - 27 - 6550

TEL : 0985 - 22 - 5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、

裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX：0985-27-6550

さ
り
と
り
せ
ん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

お知らせ

「結核患者の服薬支援連携パスポート」を導入します(宮崎県)

県では、厚生労働省の「日本版21世紀型DOTS 戦略推進体系図」に基づき、結核患者を中心に、地域の関係機関が情報を共有しながら、さらに充実した服薬支援を行うことを目的に、地域連携型服薬ノート「お薬管理がんばるノート」を作成しました。

平成27年度は延岡市医師会や宮崎東病院の先生方等に御協力いただき、延岡地区で先駆的に導入し、平成28年度は県内全域で導入することとしました。



地域全体で結核患者の支援をお願いします。
保健所もサポートします。

(A4 サイズ)



◆がんばるノートの内容

本ノートは結核治療を開始した際に、患者さんに入院医療機関又は保健所から配布されます。退院されてから治療終了までの定期受診の際に、「お薬手帳」とは別に、本ノートを持参してもらいます。
※診療報酬の対象とはなりません。

項 目	内 容
治療計画	治療方針が決定したら、薬や治療期間等の治療内容を記載。 治療中に治療方針が変更となった場合は、随時、変更内容を記載。
結核の基礎知識	結核とはどんな病気か、検査・治療方法など、結核を正しく理解するための基礎知識を掲載。医療機関等が結核について、患者に説明する際にも使用できる。
服薬チェック表	患者・家族等が、服薬状況や副作用等について記載する。
地域医療連携パス・支援結果等連絡票	関係者が患者に診療や支援等を実施した際に、結果等を記載。患者・家族に向けた服薬管理等の応援コメント、関係機関同士で共有したい情報等を記載。

◆結核の現状(参考) 日本の罹患率は他の先進国よりも高い状況です。

○他の先進国の人口10万対罹患率(平成25年): 米国(2.8), カナダ(4.7), ドイツ(5.1), イタリア(4.9), フランス(7.3), 英国(12.0) (Global Tuberculosis Control WHO Report 2014より)

	平成21年	22年	23年	24年	25年	26年
新規登録患者数(宮崎県)	182	152	179	170	157	169
人口10万対罹患率(宮崎県)	16.1	13.4	15.8	15.1	14.0	15.2
新規登録患者数(全国)	24,170	23,261	22,681	21,283	20,495	19,615
人口10万対罹患率(全国)	19	18.2	17.7	16.7	16.1	15.4

【お問い合わせ】 宮崎県福祉保健部健康増進課感染症対策室
TEL 0985-44-2620 (直通)

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
日医生涯教育協力 講座セミナー 認 知症に寄り添う 5月7日(土) 15:00～18:20 県医師会館	本人の意志が十分に汲み取られなかったレビー小体型 認知症の剖検例 大悟病院長 井上 輝彦	4 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 日本医師会 第10回宮崎県認知症・ 神経病カンファレンス 第一三共(株)
	前頭側頭型認知症が疑われた一例 宮崎大学医学部臨床神経科学講座 精神医学分野准教授 林 要人	29 (0.5)	
	認知症の診断・治療のポイントと新オレンジプラン 国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター長 遠藤 英俊	9 (0.5) 13 (0.5)	
	認知症のクリニカルパスとケアパス パネリスト 井上 輝彦，林 要人，遠藤 英俊	10 (0.5) 12 (0.5)	
宮崎市郡産婦人科 医会5月例会 5月9日(月) 19:15～20:15 県医師会館	超音波を使った乳癌検診：読影のポイント まつ婦人科クリニック院長 松 敬文	9 (0.5) 11 (0.5) 乳	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 5月11日(水) 19:10~20:40 ホテルベルフォート日向	静脈血栓塞栓症(VTE)治療の新たな治療戦略 ーNon-vitamin K oral anticoagulant(NOAC)への期待ー 宮崎市郡医師会病院 心臓病センター循環器内科医長 小岩屋 宏	12 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 バイエル薬品(株)
	インターベンション後の抗血栓療法 福岡山王病院循環器センター長 国際医療福祉大学教授 横井 宏佳	15 (0.5)	
		73 (0.5)	
第103回江南医療連携の会症例検討会 5月12日(木) 19:00~20:45 宮崎江南病院	放射線科のおしごと JCHO宮崎江南病院放射線科部長 結城 康弘	9 (0.5)	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院 ☎0985-52-4004
	回腸囊癌手術後に難治性汎小腸炎をきたした潰瘍性大腸炎の一例 JCHO宮崎江南病院内科医員 増田 稔	54 (0.5)	
	透析患者の下肢病変とアセスメント JCHO宮崎江南病院形成外科部長 大安 剛裕	73 (0.5)	
乾癬治療と病診連携を考える会 in 宮崎 5月14日(土) 18:45~20:20 ニューウェルシティ宮崎	乾癬治療のピラミッド計画の土台と頂上 ー外用治療の工夫と生物学的製剤治療ー 東海大学医学部専門診療学系皮膚科学准教授 馬淵 智生	61 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※マルホ(株) ☎080-3775-7637

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) が検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎市郡外科医会 5 月例会 5 月16日(月) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	最新の創傷治療について 宮崎大学医学部外科学講座形成外科分野講師 守永 圭吾	9 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 宮崎市郡外科医会 ◇共催 ケーシーアイ(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 5 月19日(木) 19:00~20:30 ガーデンベルズ 小林	血栓対処法ー静脈VS動脈ー 鹿児島大学大学院心臓血管・高血圧内科学教授 大石 充	12 (1) 78 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 西諸内科医会 ◇共催 第一三共(株)
第202回宮崎県泌尿 器科医会 5 月19日(木) 19:00~21:00 宮崎観光ホテル	移植医の立場から 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座 泌尿器科学分野助教 永井 崇敬	0 (0.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 宮崎県透析医会 アステラス製薬(株)
	腎臓内科医の立場から 宮崎大学医学部血液・血管先端医療学講座教授 藤元 昭一	76 (0.5)	
	移植連携について(仮) 聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科助教 谷澤 雅彦	10 (1)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第22回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 5月21日(土) 15:15~18:30 シーガイアコンベンションセンター	肩関節挙上困難の診断と治療—pearls&pitfalls— 滋賀医科大学整形外科学教室教授 今井 晋二	61 (1)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎0985-85-0986
	特発性大腿骨頭壊死症の疫学, 診断, 重症度分類, QOL 評価と診療ガイドライン 大阪大学大学院医学系研究科 運動器医工学治療学教授 菅野 伸彦	19 (1)	
	足部足関節スポーツ損傷の診断と治療 —新たな解剖学的知見によるアプローチ— 聖マリアンナ医科大学整形外科学講座主任教授 仁木 久照	57 (1)	
第15回宮崎緑内障セミナー 5月21日(土) 18:00~20:05 ホテルJALシティ 宮崎 参加費: 2,000円	緑内障診療—判断に迷う症例1—(仮) 佐々木眼科院長 佐々木 究	36 (0.5)	◇主催 宮崎緑内障研究会 ◇共催 ファイザー(株) (連絡先) 尾崎眼科 ☎0982-52-5600
	緑内障診療—判断に迷う症例2—(仮) 新城眼科医院理事長 風間 成泰	36 (0.5)	
	QOLを守るための緑内障視野の見方・考え方 新潟大学大学院医歯学総合研究科 視覚病態学分野教授 福地 健郎	36 (1)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎市郡医師会 5 月例会・しのめ 医学会特別講演会 5 月26日(木) 19:00～19:45 宮崎観光ホテル	新しい医学教育の流れ 宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授 吉村 学	12 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 5 月26日(木) 19:00～20:30 ホテル中山荘	糖尿病性腎症の成因と治療戦略 横田内科院長 横田 直人	73 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ◇共催 MSD (株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
平成28年度宮崎県 医師会死体検案研 修会 5 月28日(土) 16:00～18:00 県医師会館	死体の視かたと死体検案書作成のポイント 宮崎大学医学部社会医学講座法医学分野教授 湯川 修弘	1 (1) 6 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県警察医会
南那珂医師会生涯 教育医学会 5 月30日(月) 19:00～20:10 南那珂医師会館	南那珂地区の脳梗塞予防における抗凝固剤使用の現状と 合併症 県立日南病院脳神経外科医長 杉本 哲朗	78 (1)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 ファイザー(株) プリストル・マイヤーズスクイブ製

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
循環器疾患検討会 特別講演会 6月1日(水) 19:00~20:10 宮崎観光ホテル	百寿者から超百寿者調査へーヒト長寿科学のご紹介 慶応義塾大学医学部百寿総合研究センター 特別招聘教授 広瀬 信義	19 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 循環器疾患検討会 ◇共催 ※エーザイ(株) ☎0985-26-2676
第169回宮崎県眼科 医会講習会 6月4日(土) 16:00~18:30 ホテルJALシティ 宮崎 参加費:3,000円	緑内障の診断・治療の方針(仮) 日本医科大学眼科講師 中元 兼二	36 (1)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 ファイザー(株)
	カテーテル針と30G針を用いた強膜内固定術の実際 大阪赤十字病院眼科部長 秋元 正行	36 (1)	
宮崎県内科医会 総会並びに学術 講演会 6月11日(土) 16:00~19:00 宮崎観光ホテル	新・内科専門医制度とは、地域医療への効果は 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野教授 中里 雅光	1 (0.5) 2 (0.5)	◇主催 ※宮崎県内科医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県医師会 プリストル・マイヤーズスクイブ(株)
	C型肝炎撲滅に向けてー特に難治症例に対する使い分けー 九州医療センター肝臓センター部長 中牟田 誠	7 (0.5) 27 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第72回宮崎整形外科懇話会 6月18日(土) 18:00~19:00 宮崎大学医学部 臨床講義室 参加費:1,000円	骨軟部腫瘍の診断と治療ー現状と将来展望ー 国立がん研究センター中央病院 希少がんセンター 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 希少がんセンター長	81 (1)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎市郡小児科医会 6月定例会 (4木会) 6月23日(木) 19:15~20:30 ガーデンテラス 宮崎	経口補水療法と輸液の上手な使い分けー夏本番前に知っておくべき新知見ー 聖マリア病院 医師臨床・教育・研究本部専攻医指導部長	8 (0.5) 51 (0.5)	◇主催 宮崎市郡小児科医会 ◇共催 ※(株)大塚製薬工場 ☎0985-24-2272
第2回宮崎がんのリハビリテーション研修会 6月25日(土) 9:00~18:20 6月26日(日) 9:00~17:00 県立宮崎病院	グループワーク がんのリハビリテーションの問題点 (1日目 9:10~11:00) 日南市立中部病院	10 (1)	◇主催 宮崎がんのリハビリテーション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中央病院 ☎0987-27-1111
	がんのリハビリテーションの概要 (1日目 11:00~11:50) 日南市立中部病院	19 (0.5)	
	周術期リハビリテーションー患者評価のポイントとリハビリテーションの実際ー (脳腫瘍を含む) (1日目 12:40~14:10) 宮崎大学医学部リハビリテーション科 黒木 洋美 宮崎善仁会病院 吉田 裕一郎	45 (1)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第2回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会 6月25日(土) 9:00~18:20 6月26日(日) 9:00~17:00 県立宮崎病院	化学療法・放射線療法の副作用とリスク管理, 骨転移患 者への対応 (1日目 14:20~15:30) 宮崎大学医学部リハビリテーション科 黒木 洋美 古賀総合病院 黒木 昭仁	18 (1)	◇主催 宮崎がんのリハビリテー ション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中央病院 ☎0987-27-1111
	歩行・基本動作障害・ADL・IADL障害に対する対応 (1日目 15:50~16:50) 潤和会記念病院 岩佐 彩美 宮崎県立日南病院 津輪元 修一	24 (0.5) 62 (0.5)	
	グループワーク 模擬カンファレンス (1日目 17:00~18:20) 宮崎大学医学部リハビリテーション科 黒木 洋美 宮崎大学医学部精神科 船橋 英樹	13 (1)	
	がん患者の摂食・嚥下障害, コミュニケーション障害, 口腔ケア (2日目 9:00~10:10) 宮崎大学医学部附属病院 金岡 敦 宮崎県立延岡病院 高森 晃一	34 (0.5) 49 (0.5)	
	進行がん患者に対するリハビリテーションアプローチ (2日目 10:20~11:20) 小林市民病院 渡邊 紘章	80 (0.5) 81 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第2回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会 6月25日(土) 9:00~18:20 6月26日(日) 9:00~17:00 県立宮崎病院	心のケアとリハビリテーション (2日目 11:30~12:30) 宮崎大学医学部精神科 船橋 英樹	69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 宮崎がんのリハビリテー ション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中央病院 ☎0987-27-1111
	リハビリテーションにおける看護師の役割(症例検討含む) (2日目 13:20~14:00) 宮崎県立宮崎病院 藤井 和実 藤元総合病院 米丸 順子	0 (0.5)	
	グループワーク がんのリハビリテーションの問題点の解決 (2日目 15:00~16:40) 宮崎大学医学部リハビリテーション科 黒木 洋美 宮崎大学医学部精神科 船橋 英樹	12 (1)	
平成28年度宮崎県 外科医会・宮崎県 整形外科医会・宮 崎県医師会労災部 会 総会並びに合 同学会 7月2日(土) 15:30~18:00 県医師会館	当科で行っている熱傷、褥瘡の治療 宮崎大学医学部感覚運動医学講座 皮膚科学分野教授 天野 正宏	56 (0.5) 58 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会



「医療に関する専門家集団」である日本医師会を、より身近で親しみのある団体として皆様に広く認知してもらうことを目的として、広報活動・メディアに登場する新キャラクターデザインを募集します。

応募締切 | 平成28年8月31日(水)まで(必着)

応募資格

プロ、アマを問いません。

応募方法

郵送での応募

日本医師会のホームページから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入しご郵送ください。

必要事項

キャラクターのデザイン、キャラクターの説明、氏名、年齢、性別、郵便番号、住所、メールアドレス

※キャラクターデザインを描く用紙はA4サイズの画用紙などでも可。
ただし、画用紙裏面に応募者名を必ずご記入ください。

インターネットでの応募

日本医師会「新キャラクター募集」ホームページ内のフォームからご応募ください。

発表

平成28年11月、ホームページにて発表

賞

採用作品1点(賞金30万円)

その他

採用作品の著作権(著作権法第27条及び第28条に定める権利を含む)、商標権、その他一切の権利は、日本医師会に帰属します。応募作品は返却いたしません。

応募先・問い合わせ先

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

公益社団法人日本医師会広報・情報課「新キャラクター募集係」

[E-mail] jmachara@po.med.or.jp [TEL] 03-3946-2121(代)

診療メモ



舌下免疫療法について

つばい耳鼻咽喉科クリニック つばい やす ひろ
坪 井 康 浩

はじめに

2014年10月、国内初となる舌下免疫療法に用いるスギ花粉エキス(シダトレン®)が保険収載されました。これを機に、これまで行われていた皮下注射によるアレルギー免疫療法(Subcutaneous Immunotherapy: SCIT)(減感作療法)に代わり、経口投与(Sublingual Immunotherapy: SLIT)(舌下免疫療法)が行えるようになりました。

アレルギー免疫療法の歴史は古く、100年ほど前、1911年Dr. Noonによって行われたそうです。日本では1963年からアレルギーエキスが市販され、1970年代からは減感作療法が大学病院を中心に盛んに行われました。しかしこの減感作療法は、皮下注射の痛みを伴うこと、増量期には週に1、2回の通院が必要であること、さらに0.13%と言われるアナフィラキシーショックが起こる可能性があるため、徐々に行われなくなりました。その後、ヨーロッパを中心に投与方法の改良が検討され、1990年代からはアレルギーの舌下投与の有効性が報告されるようになりました。

アレルギー性鼻炎の治療は、現時点では抗ヒスタミンや抗ロイコトリエン、鼻内噴霧ステロイド薬を中心とした薬物療法が主流です。しかし、これら是对症療法のため、継続治療によっても寛解が得られるわけではありません。アレルギー免疫療法はアレルギー性鼻炎の自然経過

の改善や長期寛解が期待される点が最大の特徴です。すなわち治療中止後の効果継続の可能性、他抗原による感作や発症の予防の可能性、喘息発症の予防の可能性などが期待されています。

舌下免疫療法の適応と禁忌

舌下免疫療法を始めるには、まずアレルギー性鼻炎の確定診断が必要です。3主徴であるくしゃみ、水溶性鼻漏、鼻閉があり、鼻鏡所見で鼻腔粘膜の浮腫や水溶性鼻汁を確認します。鼻汁中に好酸球が増加していることもアレルギー性鼻炎の診断には重要です。さらにアレルギーの検索が必要で、皮膚テストや血清特異的IgE抗体の測定によりアレルギーを特定し、スギ花粉やダニによるアレルギー性鼻炎の患者さんが適応となります。

一方、舌下免疫療法の禁忌は、①β阻害薬を使用する患者、②妊娠中の患者、③重症喘息を合併する患者(一秒率70%未満)、④悪性腫瘍や自己免疫疾患などの重篤疾患の患者、⑤ステロイドや抗がん剤を投与中の患者、⑥急性感染症の患者、⑦歯科治療の継続中や口腔内の外傷の患者、となっています。また、現時点では12歳未満の小児には適応がなく、65歳以上は治療効果が低下する可能性があります。

舌下免疫療法の効果

舌下免疫療法の成功のカギはアドヒアランスです。本治療法は即効性がないこと、長期間の治療が必要であること、副反応が生じる可能性

があること、患者すべてに効果が出るわけではないことなど、患者教育が重要です。当院では平成26年以降29名の患者さんにスギ花粉エキスの舌下免疫療法を行っています。平成28年2月現在で継続加療中は26名、約9割の患者さんが治療を継続しています。効果はおおむね良好で、抗ヒスタミン薬などを全く使わない患者さんもいらっしゃいます。湯田らによると、舌下免疫療法では、約20%に寛解が期待され、有効、やや有効まで含めると、およそ80%にある程度の効果が期待できるとされています。

舌下免疫療法の施行法(スギ花粉エキスの場合)

スギ花粉症に関しては、花粉飛散が始まる1月から花粉飛散が終了する5月までは、治療を開始しないことが大切です(つまり治療開始は、6月から12月までです)。また第1回目の投与は、副反応の発現を考慮し必ず院内で行います。患者さんは、投与後30分間院内で安静を保ち、副反応が出ないことを確認し帰宅します。治療開始から2週間は増量期、3週目からは維持期です。自宅での舌下投与は、アナフィラキシーショックが起こった時の対応のため、なるべく周りに人がいるところで行うよう指導します。

安全性

舌下免疫療法によるアナフィラキシーショックは極めて稀とされ、減感作療法の0.13%に比べると有意に少ないと報告されています。一方で、口腔掻痒感や咽頭刺激感、口腔粘膜の腫脹など軽微な副反応はむしろ舌下免疫療法に多くみられます。舌下免疫療法は原則自宅で行うため、副反応について患者さんに十分な説明が必要です。

舌下免疫療法はどこでできる？ 宮崎県におけるシダトレン®の使用実績は？

講習を受けた医師が登録制でおこないます。舌下免疫療法を行う施設は、現在ネットで検索できます。シダトレン®に関し、宮崎県内で講習会を受講した医師数は約100名。このうち、実際

に処方した医師数は約50名。また、処方された患者数は約200名ということです。(平成27年末時点、鳥居薬品からの情報提供)

新規に講習を受けたい先生は、Web上で「アレルギー免疫療法eラーニング」を受講できるようになりました。受講終了後、さらに薬剤ごとの適正使用eラーニングを受け、確認テストに合格する必要があります。

治療効果の判定、いつ止める？

治療の効果を客観的に評価するためには、治療効果を反映するバイオマーカーの確立が必要です。これまで候補として、特異的IgEの低下、特異的IgG4の増加、皮膚テスト反応性の低下、IL-10の増加などが挙げられてきましたが、いまだに効果判定に有効なものは見つかっていません。これまでの舌下免疫療法の投与期間に関する検討では、投与期間が1年未満に比べ、1年以上の投与では有意に症状が改善し、また2年未満と3年以上の比較検討でも、3年以上の継続で有意に症状改善が見られたと報告されています。すなわち現時点では、大体3年間(できれば4年)内服継続し、状態を見て休薬します。スギ花粉の飛散量は年によって増減があり、患者さんの症状も変化します。従って、1～2年の経過で舌下免疫の治療効果を判断するのは危険です。

今後の展望

平成27年、塩野義製薬と鳥居薬品から、舌下免疫に使用できるダニエキス(アシテア®とミティキュア®)が相次いで発売になりました。スギ花粉エキスは液剤でしたが、ダニエキスは錠剤になっています。現時点ではスギ花粉エキスとダニエキスの併用は行われていません(経験がない)。スギ、ダニの重複感作症例も多くみられることから、二つの抗原を同時に用いた免疫療法も検討されると思われます。免疫療法により、一人でも多くの患者さんが寛解を得られることを期待いたします。

宮大医学部学生のページ

MDphD コース(医学研究者育成コース)と研究室生活について

宮崎大学医学部医学科4年 ^{かみ}神 ^や谷 ^り莉 ^か香

私は、宮崎大学のMDphD コース(医学研究者育成コース)を利用して、宮崎大学医学部解剖学講座神経生物学教室に所属しています。MDphD コースとは、国際感覚豊かな研究医の育成を目標として、平成25年に運用が開始された比較的新しいシステムです。MDphD コースを利用して学部生のうちから研究室での活動に参加することで、いくつかのメリットが受けられるようになっています。その例として、3年次の研究室配属で海外派遣を希望すれば優先的に派遣されること、学生の間に学会に参加する機会が増えること、規定の条件(学部在籍中に国際雑誌で英文論文(1編以上、共著可)が掲載されるなど)を満たした場合、博士号取得のための大学院の在籍期間を3年に短縮できることなどが挙げられます。このコースの良い点は、臨床とは違う視点から医学を学ぶことができ、実際の研究を近くで見ることができる点にあると思います。しかし、研究に触れられる一方で、医学部の正規の時間割にこのコースを利用した研究の時間は含まれていないため、まとまった時間が必要な研究と大学の勉強とを両立させることの難しさを、実際に研究室に所属してみて感じています。

私の所属する宮崎大学医学部解剖学講座神経生物学教室では、主に「痛み」すなわち「痛覚」について研究しています。こちらの研究室を選

じた経緯ですが、私はもともと人体の神経系について興味があり、「温かい」「冷たい」といった様々な感覚や、喜怒哀楽という言葉だけでは表しきれない感情が、すべて脳を含む神経系に関与していることが不思議でなりません。そこで、神経系を学べる研究室を探しており、その時に「痛覚」に焦点をあてているこの研究室に出会いました。「痛み」は人によって感じ方や、その痛みの表現の仕方が違うもので、決して他人とは共有できないものです。また、「痛み」は患者さんに常についてまわるもので、医師はそれを和らげるよう努めなければなりません。このような点を踏まえ、この際「痛み」について深く知ってみようと思い、今の研究室を選択しました。

研究室では、池田哲也准教授の研究の一部に携わらせていただいております。研究内容は糖尿病による慢性疼痛に焦点をあてたものです。具体的には、動物実験や免疫染色、顕微鏡での脊髄の観察、ラットの灌流などを経験させていただいております。どの経験も、研究室に所属しなければ決して行うことはなかったと思います。また昨年の7月には、日本神経科学学会に参加させていただきました。すべてが英語を使った発表で、英語に慣れてないために苦労しましたが、他の分野も含めてたくさんの研究内容を

見ることができました。同じ分野でも異なる視点から焦点をあてている研究もあり、1つの考えに固執している自分に気づかされました。また、同時にこれから自分がどんな道に進みたいかを考えるよいきっかけともなりました。

自分が研究医になるか臨床医になるかはまだ決めていませんが、この研究室での経験を将来に何らかの形で活かしていきたいと思っています。



研究室のメンバー(中：神谷 右：池田准教授)



学会参加時の写真(中：神谷)

宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 畠中・久永

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）までご連絡ください。

送付日	文 書 名
3 月 9 日	・「日医かかりつけ医機能研修制度平成28年度応用研修会」の開催について ・「保健師助産師看護師国家試験制度改善検討部会報告書」の送付について ・厚生労働科学研究「中小規模病院の看護管理能力向上を支援するガイド」の送付について
3 月11日	・「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める患者について」の一部改正について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
3 月22日	・医療機関における施設の一体性について
3 月23日	・平成27年度介護報酬改定に関するQ&A (vol. 5) の削除のお願いとQ&A (vol. 6) の送付について ・医療法人の設立認可等に係る医療審議会の開催時期等について
3 月24日	・宮崎大学医学部附属病院への消化器疾患患者の紹介について ・平成28年度医政局所管補助事業に係る事業計画書・交付申請書の提出について
3 月25日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・平成28年度診療報酬改定に係る告示、通知の送付について（3月18日付け）
3 月28日	・平成28年経済センサスー活動調査の実施について
3 月29日	・入院時食事療養費における標準負担額の見直しにかかる周知用ポスターの送付について
3 月31日	・動物由来感染症ハンドブック2016の送付について ・学校検診における運動器検診の事後措置の協力医名簿（日本臨床整形外科学会作成）の提供について ・学校におけるてんかん発作時の坐薬挿入について ・宮崎県精神科救急医療システムに係る平成28年度当番病院の一部変更について
4 月 1 日	・「病原微生物検出情報」の送付について ・東日本大震災における JMAT（日本医師会災害医療チーム）の活動終了について ・日本脳炎の定期の予防接種の積極的な接種勧奨の取扱いについて
4 月 4 日	・「使用上の注意」の改訂について ・フルニトラゼパム注射剤の適正使用について ・ヒドロキシエチルデンプン130000製剤の使用上の注意の改訂について ・ロクロニウム臭化物及びベクロニウム臭化物製剤の使用上の注意の改訂について ・第十七改正日本薬局方の制定等について ・ビガバトリン製剤の使用に当たっての留意事項について ・デュロキセチン塩酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について

送付日	文 書 名
4 月 4 日	・セリチニブ製剤の使用に当たっての留意事項について ・オシメルチニブメシル酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について ・インターネット等の情報通信機器を用いた診療(いわゆる「遠隔診療」)を提供する事業について ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.112」の提供について
4 月 5 日	・難治性精神疾患地域連携体制整備事業の実施について ・長期入院精神障害者地域移行総合的推進体制検証事業の実施について ・出産育児一時金等の受取代理制度の届出について(平成28年度) ・地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行等について(麻薬取扱者免許有効期間延長) ・「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正等について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第53条の11第1項の規定に基づく届出について ・人を発病させるおそれがほとんどないものとして厚生労働大臣が指定する病原体等の一部を改正する件の公布について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令及び蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針の一部を改正する件の施行について ・インターネット等の情報通信機器を用いた診療(いわゆる「遠隔医療」)を提供する事業について ・東日本大震災に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について ・「平成28年度診療報酬改定関連通知の一部訂正及び官報掲載事項の一部訂正について」及び厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その1)」の送付について
4 月 8 日	・医療法人に係る改正通知について ・金属製の眼内ドレーンを留置した患者に対する磁気共鳴画像診断装置を用いた検査について ・平成28年度労災診療費算定基準の一部改定について
4 月 11 日	・「使用上の注意」の改訂について ・Metal-on-Metal 人工股関節を構成する医療機器に係る「使用上の注意」の改訂について ・医療機関等からの医薬品、医療機器又は再生医療等製品についての副作用、感染症及び不具合報告の実施要領の改訂について ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第14回集計報告」の周知について ・「保健医療情報分野の標準規格(厚生労働省標準規格)について」の一部改正について
4 月 12 日	・「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律等の施行等について」の一部改正について ・電子処方せんの運用ガイドラインの策定について ・障害者差別解消法リーフレット(改訂版)及びポスターの送付について ・「肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いについて」の一部改正について ・がん登録オンラインシステムの構築に伴う届出対象情報の提出方法について ・各がん検診実施機関等登録(指定)について ・平成28年度新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業の実施等について ・病床機能報告制度に関する電子レセプトへの病棟情報の記録について ・「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令等の公布について」の送付について ・高額介護サービス費等に関する制度周知について ・「第三者行為求償の取組強化に向けた要介護認定に係る主治医意見書への記載等について(協力依頼)」の送付について



平成28年度の広報委員会が始まりました。上野委員長が2年の任期を満了し惜しまれつつ3月に勇退されました。至極残念です。今回、6人の新委員を加えた12名(医師8名、医学部生4名)でのスタートです。私はとうとう広報委員5年目となりました。娘が小学校入学と同時に私も広報委員の任を受けましたので、娘の小学校期間と同じだけこの委員をすることになります。

さて、平成15年7月号の田代先生の随筆(「日州醫事小史」と「日州」について—改題70周年記念—)を参考に、再度日州醫事の歴史をふりかえってみます。昭和2年4月に宮崎県医師会会報が創刊され、昭和7年7月の63号より現在の「日州醫事」へ改題されました。昭和2年を創刊年とすると今年は90周年となります。今机上有る先月号(2016年4月号)を見ると表紙にNo.800の文字が…。先月は記念すべき800号!伝統ある広報誌です。

上記の随筆によると、昭和初期、当時の杉田直会長の時代からこの広報誌を多くの方々に読んでいただけるものにするため試行錯誤されていたことがうかがえます。先月の広報委員会でもより多くの読者を引き込むため、紙面の刷新を図りたいといった意見もありました。800号になっても完成された、みんなが読みたくなる紙面を作るのは難しいものですが、これから2年間、広報委員長として12名の力を借り、魅力ある紙面づくりに邁進する所存です。(沖田)

* * * * *

修学旅行から帰ってきた息子の第一声は、「ただいま、楽しかったー」でした。やや疲れた様子ですが、にこにこしながら帰ってきました。親戚や先輩後輩へのお土産をしっかりと準備しているところに成長が見てとれました(前回には足りない分があり後からネットでお取り寄せでした)。親にもキーホルダーを買ってきて、土産話もたくさんありました。一瞬ホンワカいい気分になりましたが、次の日には親子ともどももう普通に帰ってしまいました。(西田)

* * *

広報委員を務めてもうすぐ1年になります。ベテランの先生方にいろいろと教えてもらいながら何とかやってきましたが、もうしばらく続けることになりました。本誌は医師だけでなく幅広い方々に読まれているようです。皆様にとって少しでも読みやすく身近に感じられる雑誌になるよう微力ながら努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。(中村)

* * *

今回から広報委員を務めさせていただくことになりました野村です。全く文学的な素質のない私になぜここにという気持ちもあるのですが、「必要な時に必要なものが現れる」と言うように、今の私には医療に関わる様々な情報を学ぶ必要があるのではないかと感じています。そんなさなか熊本の震災がありました。起こったことを良かったとは思えませんが、おそらく多くの方々が必要なものを感じられたと思います。家族、友情、食べ物、水など。日州医事からも皆さんに必要なものをお伝えできたらと思います。(野村)

* * *

先の地震で被災した地域の様子を連日報道で見ると、その被害の甚大さに非常に驚かされます。それと同時に、今なお続く余震と悪天候に怯える毎日を過ごす被災者の方に対して、何かできることがないかという強い気持ちに駆られます。学生にできることは限られますが、私もボランティアや募金といった形で支援の輪に加わりたいと思います。一日も早く、被災地が復興することを祈っております。(押川)

* * *

今年から広報委員を務めさせていただくことになりました、宮崎大学医学部4年の馬場と申します。どうぞよろしくお願い致します。

先日の熊本地震で、実家が損壊(私自身も被災)し車中泊を経験しました。宮崎に両親と避難するまでわずか2日ほどでしたが、ストレス性の胃痛で眠れず、改めて自然の恐ろしさと日頃の備えの大切さを実感しました。今、私は玄関に非常袋を置いています。皆さんもこの機会に用意されてみては如何でしょうか。(馬場)

* * *

今回の熊本地震でもFacebookやTwitter、LINEなどで、閉じ込められた人の情報や物資依頼の情報などが発信され、的確で素早い支援が行われた事例が数多くあり、リアルタイムで発信されるSNSの力が発揮されました。一方で、古い情報で混乱したり、デマの情報を流して被災者の不安を煽ったりなど負の側面も明らかとなっています。あふれる情報の中、正しい情報を見極める重要性を改めて感じました。(荒木)

* * *

今月のトピックス

おしらせ 「はまゆう随筆」原稿募集，医家芸術展作品募集，日医の新キャラクターデザイン募集

毎年恒例となりました，はまゆう随筆，医家芸術展の作品募集が始まりました。はまゆう随筆のテーマは自由，医家芸術展は会員家族も応募ができます。初めての方も大歓迎。みなさんの原稿や作品をお待ちしております。

日医のキャラクターが変わります。あなたのデザインが採用されるかも…。

10, 36, 63ページ

診療メモ 舌下免疫療法について

スギ花粉症は現在，国民の4人に1人，推定3,000万人以上おり，さらに今後も増えていくであろうと言われています。2014年に舌下免疫療法に用いるスギ花粉舌下液(シダトレン®)が保険適応になりました。これまでの皮下注射による減感作療法と比べ，さまざまな利点があるようです。適応と禁忌，効果や実際の施行法等を坪井康浩先生に解説していただきました。

64ページ

宮大医学部学生のページ MDphD コース(医学研究者育成コース)と研究室生活について

医学の進歩には臨床のみでなく基礎医学研究も重要です。学生時より研究室に所属し研究活動に参加する，MDphD コース。このプログラムで研究活動をしている神谷莉香さん(宮崎大学4年)の報告です。

66ページ

日 州 医 事 第801号(平成28年5月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 沖田 和久・副委員長 西田 隆昭，岡本健太郎
委 員 中村 豪，野村 勝政，押川 隆，馬場 萌子
山崎 俊輔，稲倉 琢也，上山 貴子，佐井 佳世，柴野 雅資
担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗，佐々木 究
事 務 局 学術広報課 立山 幸恵，牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース ●落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定 価 350円(但し，県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)